証券コード：1959

Make Next.
KYUDENKO

# (株) 九 電 工

## 2021年 3月期（第1四半期末）

# 貸借対照表の概要

（百万円、下段は構成比）

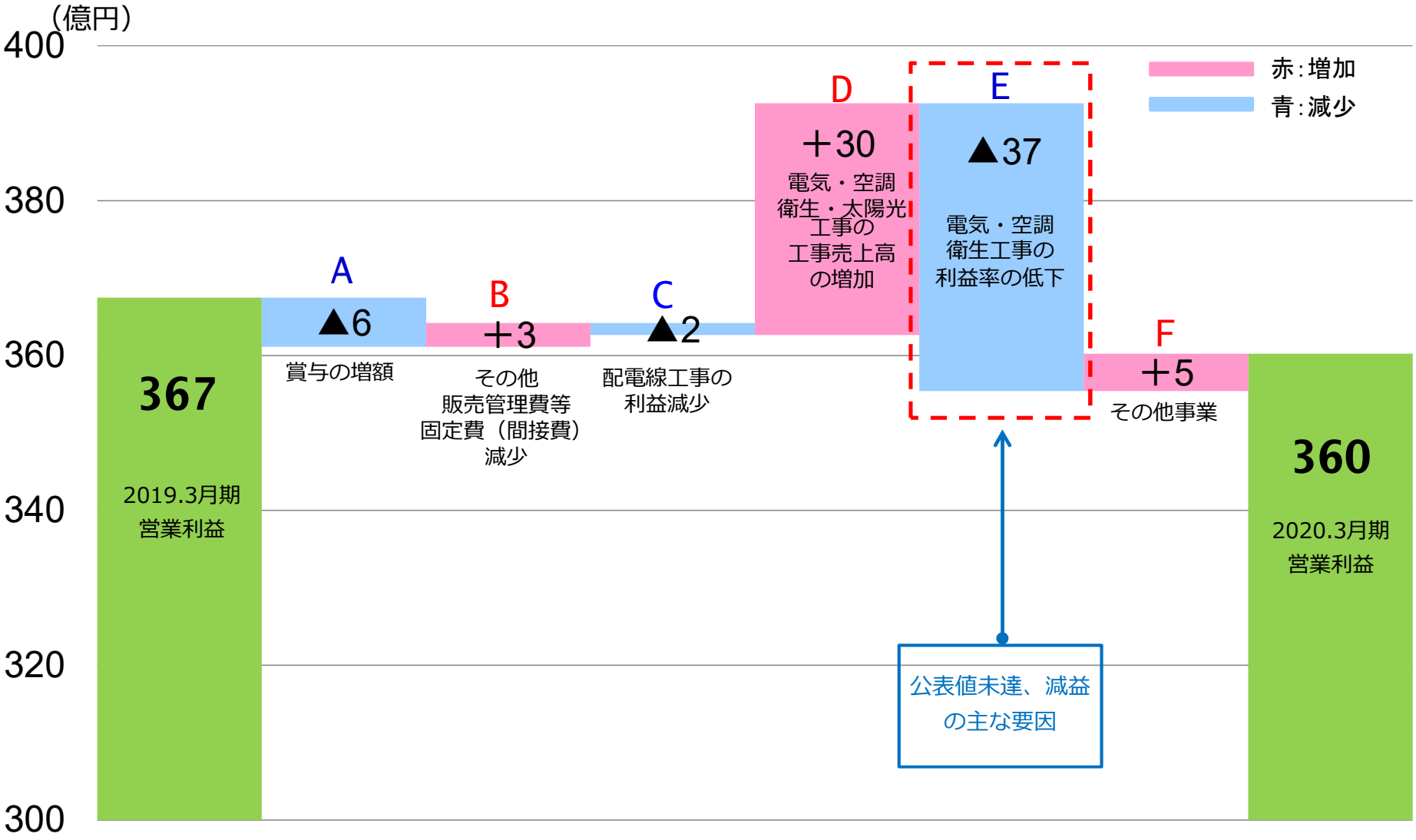
| | 2019年3月末 | 2020年3月末 | 2020年6月末 | 増減（3ヶ月間） | 主な増減要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 206,268<br>(57.7%) | 216,269<br>(58.7%) | 194,532<br>(56.1%) | ▲21,737 | 受取手形・未収入金等 ▲48,443<br>現金預金 ＋19,677<br>未成工事支出金 ＋3,719 |
| 固定資産 | 151,002<br>(42.3%) | 152,212<br>(41.3%) | 152,272<br>(43.9%) | 60 | 投資有価証券 ＋1,309<br>退職給付に係る資産 ▲418<br>繰延税金資産 ▲316 |
| 資産合計 | 357,271<br>(100.0%) | 368,482<br>(100.0%) | 346,805<br>(100.0%) | ▲21,676 | |
| 流動負債 | 142,144<br>(39.8%) | 142,723<br>(38.7%) | 122,353<br>(35.3%) | ▲20,369 | 支払手形・工事未払金等 ▲29,231 |
| 固定負債 | 32,949<br>(9.2%) | 28,316<br>(7.7%) | 26,659<br>(7.7%) | ▲1,657 | 退職給付に係る負債 ▲968<br>長期借入金 ▲540 |
| 負債合計 | 175,094<br>(49.0%) | 171,039<br>(46.4%) | 149,012<br>(43.0%) | ▲22,027 | |
| 純資産合計 | 182,176<br>(51.0%) | 197,442<br>(53.6%) | 197,793<br>(57.0%) | 350 | その他有価証券評価差額金 ＋867 |
| 負債純資産合計 | 357,271<br>(100.0%) | 368,482<br>(100.0%) | 346,805<br>(100.0%) | ▲21,676 | |

# 2020年３月期　損益計算書の概要

(百万円、下段は構成比)

| | 2019年3月期 | 2020年3月期 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 実 績 | 前年比 | 計　画 (2019.4.26) | 計画比 |
| 売上高 | 408,143<br>(100.0%) | 428,939<br>(100.0%) | 105.1% | 418,000<br>(100.0%) | 102.6% |
| 売上総利益 | 60,561<br>(14.8%) | 60,093<br>(14.0%) | 99.2% | 62,700<br>(15.0%) | 95.8% |
| 営業利益 | 36,747<br>(9.0%) | 36,022<br>(8.4%) | 98.0% | 38,000<br>(9.1%) | 94.8% |
| 経常利益 | 39,924<br>(9.8%) | 38,643<br>(9.0%) | 96.8% | 40,700<br>(9.7%) | 94.9% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 26,691<br>(6.5%) | 26,245<br>(6.1%) | 98.3% | 27,200<br>(6.5%) | 96.5% |
| 一株当たり当期純利益 | 375.17円 | 370.00円 | | 382.31円 | |

# 営業利益増減要因 2020年３月期　通期

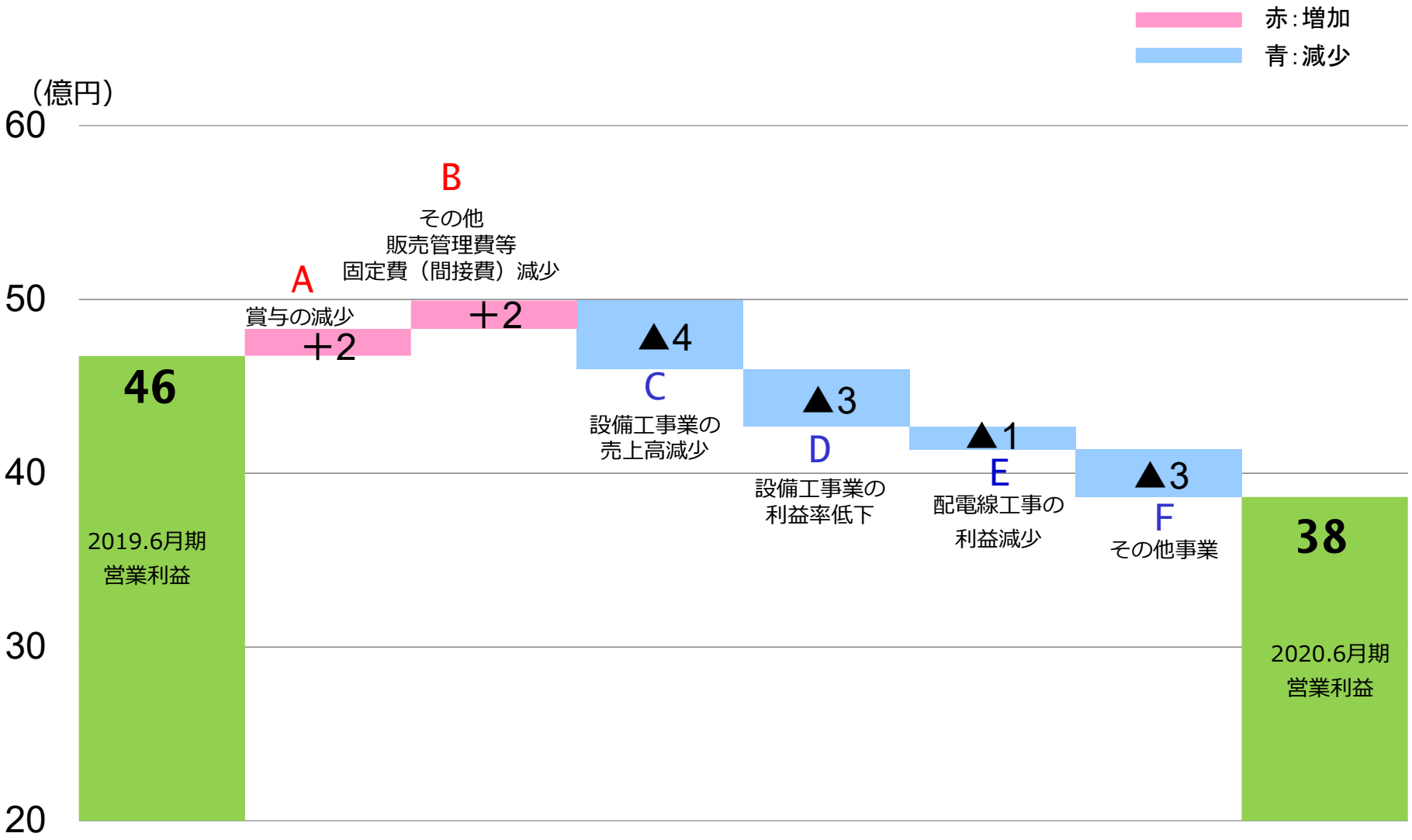


# 2021年３月期 第1四半期末　損益計算書の概要

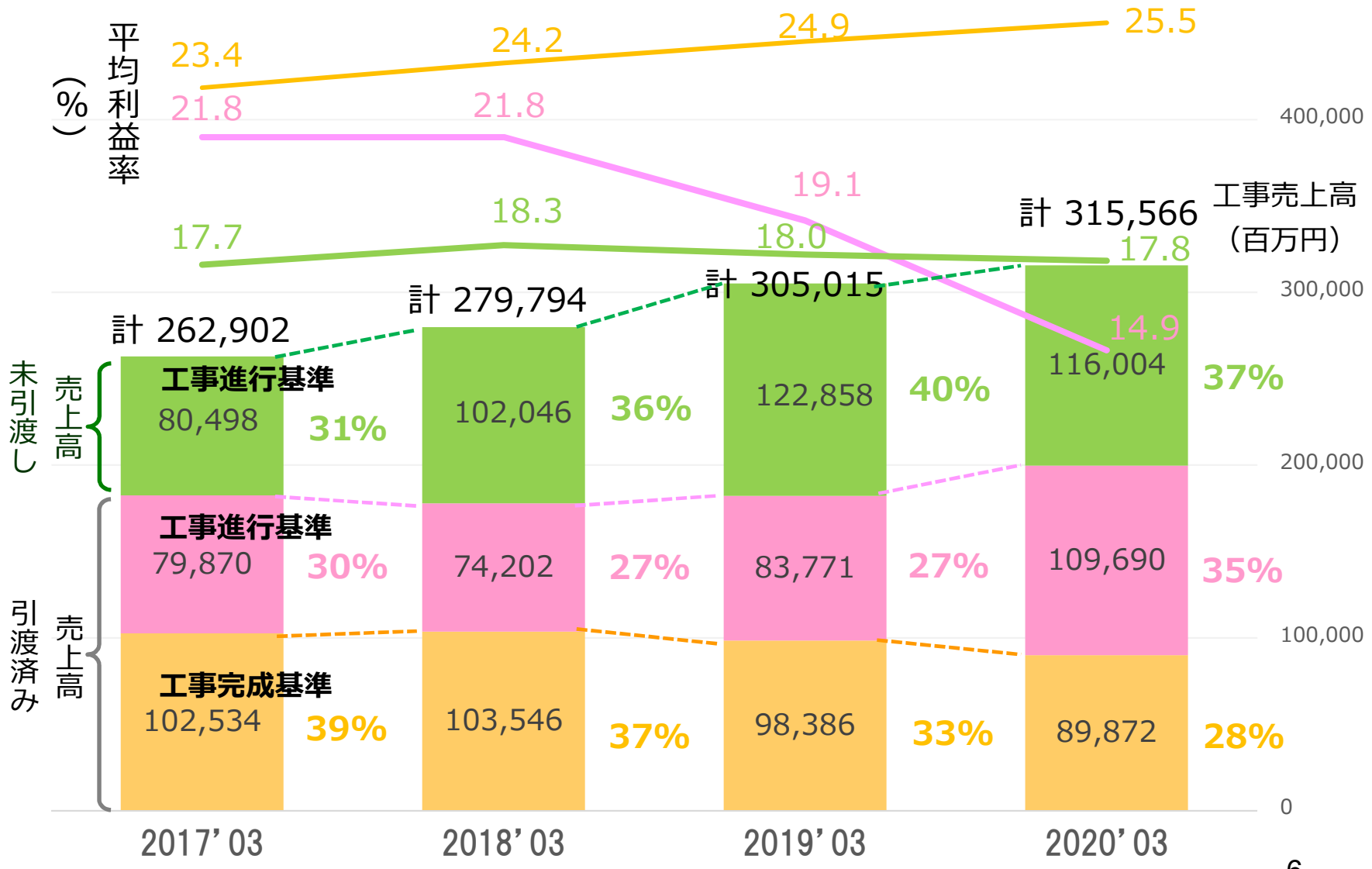
(百万円、下段は構成比)

| | 2020年3月期 第1四半期末 | 2021年3月期 第1四半期末 | 対前年同期増減 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 増 減 | 率 |
| 売上高 | 83,747<br>(100.0%) | 79,439<br>(100.0%) | ▲4,307 | ▲5.1% |
| 売上総利益 | 10,938<br>(13.1%) | 9,860<br>(12.4%) | ▲1,078 | ▲9.9% |
| 営業利益 | 4,674<br>(5.6%) | 3,862<br>(4.9%) | ▲812 | ▲17.4% |
| 経常利益 | 5,399<br>(6.4%) | 4,655<br>(5.9%) | ▲744 | ▲13.8% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,843<br>(4.6%) | 3,119<br>(3.9%) | ▲724 | ▲18.8% |
| 一株当たり四半期純利益 | 54.03円 | 44.03円 | | - |

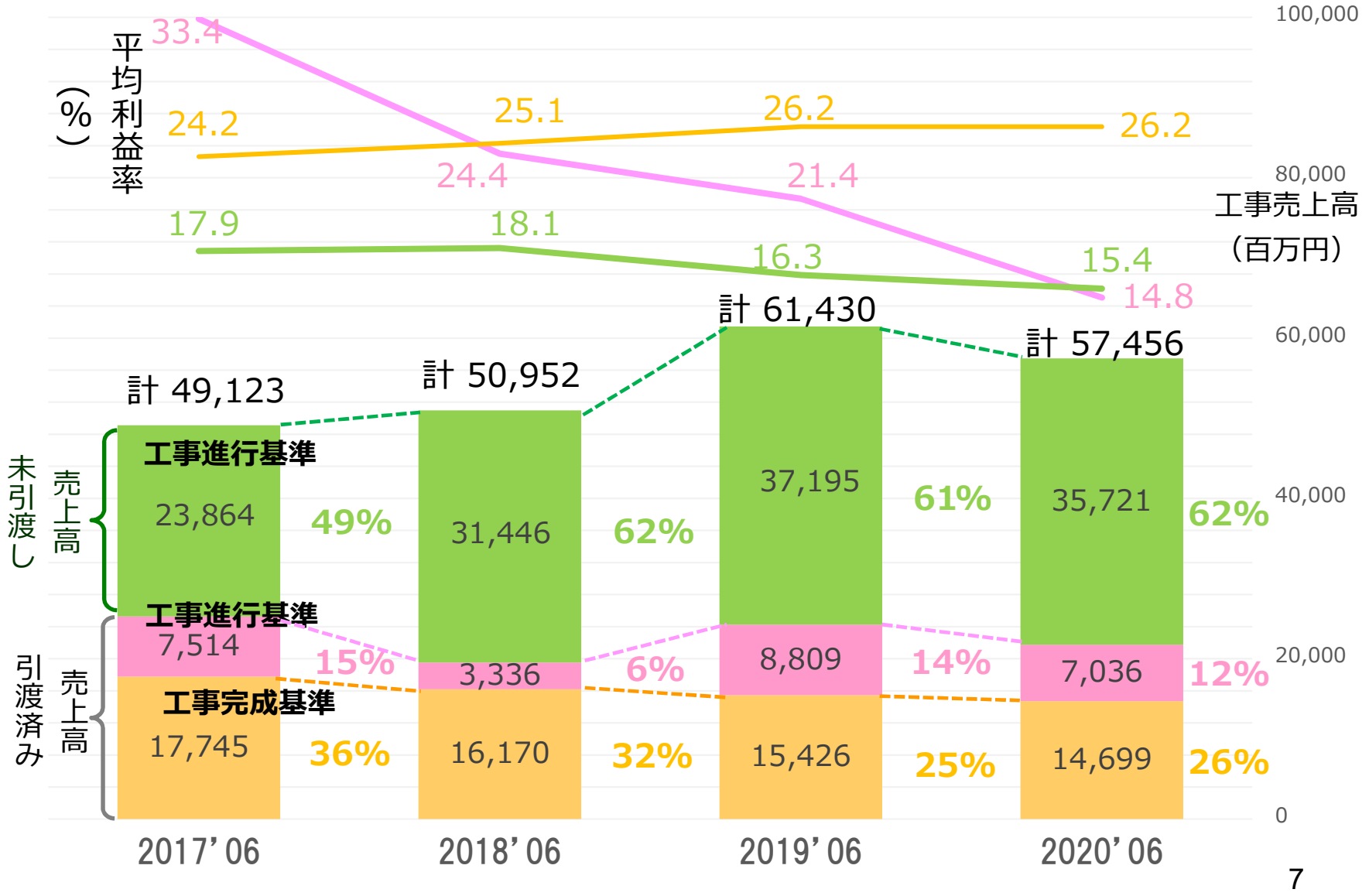
# 営業利益増減要因 2021年３月期　第1四半期末



# 工事売上高・平均利益率の内訳　2020年3月期　通期
（九電工単体：配電線除く）

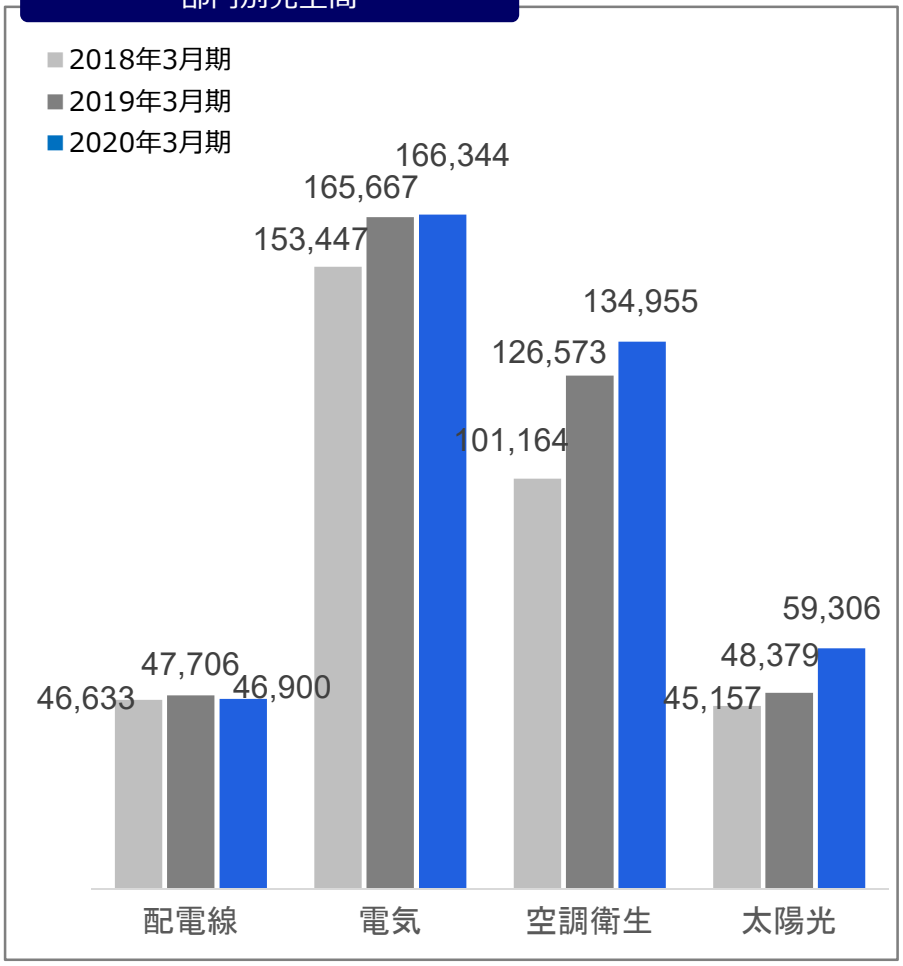


# 工事売上高・平均利益率の内訳　2021年3月期　第１四半期末
（九電工単体：配電線除く）

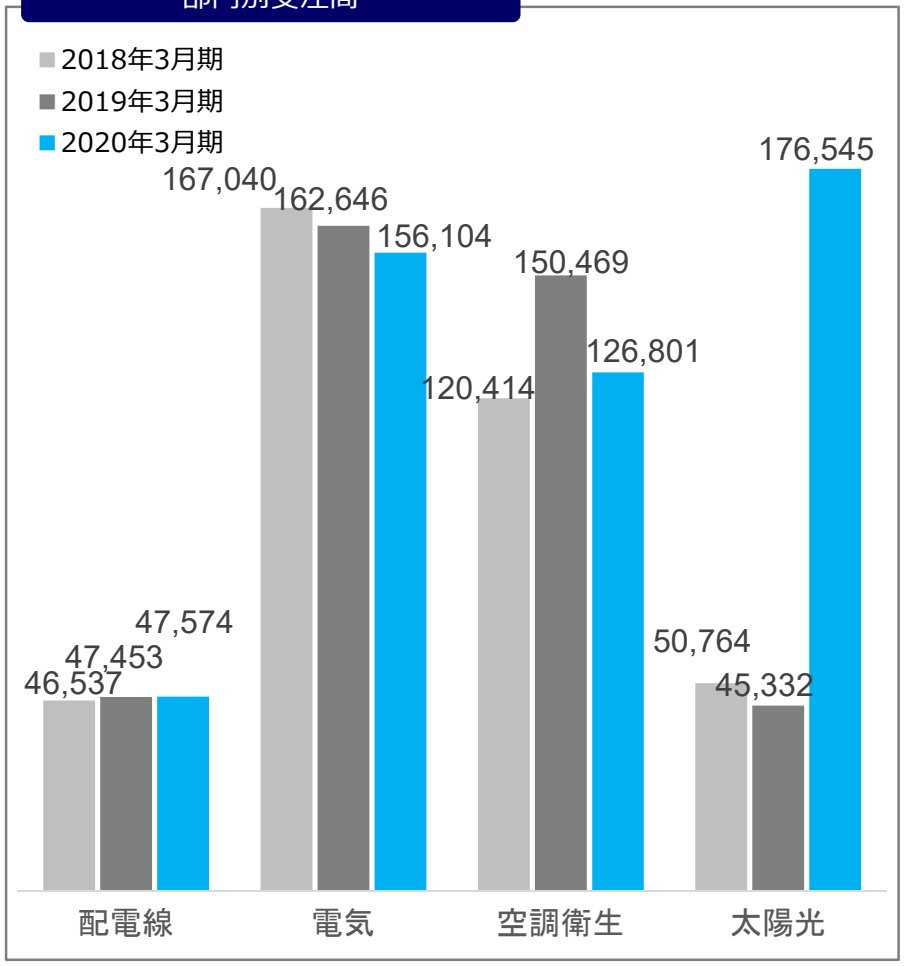


# 部門別受注・売上の状況　2020年3月期　通期
## ＜設備工事業＞

(百万円)

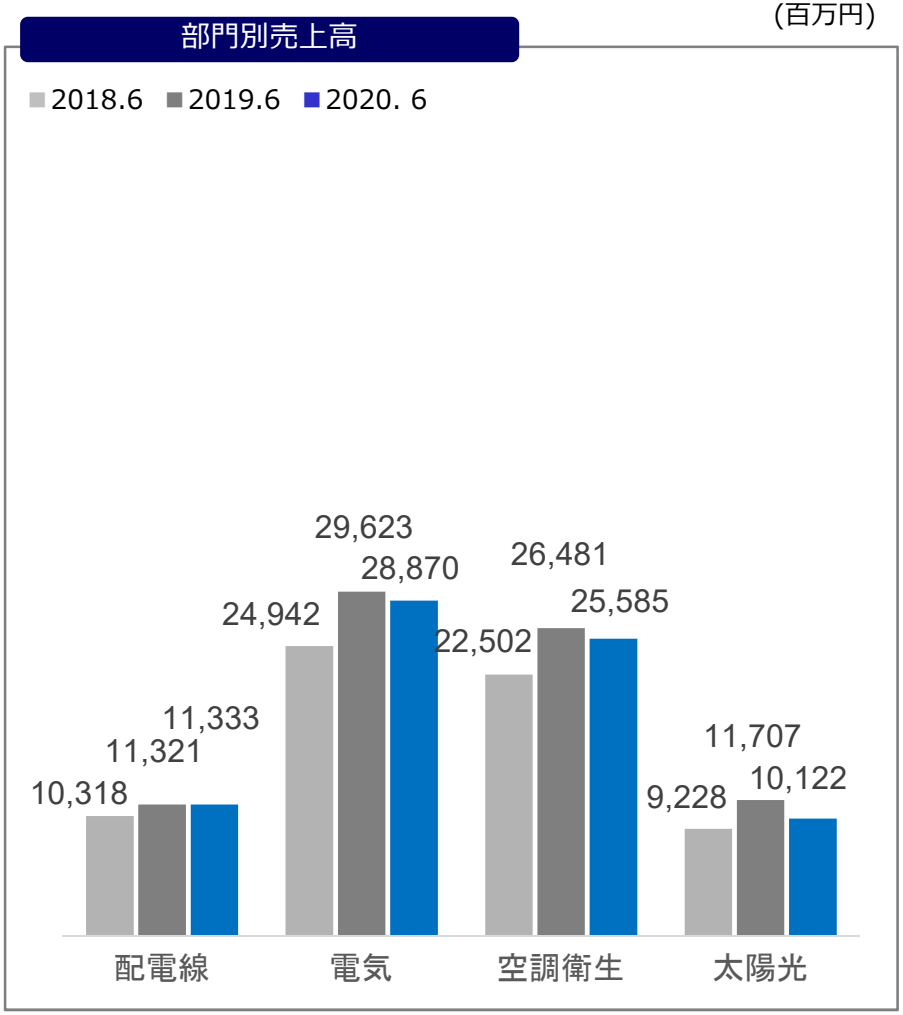



(百万円)

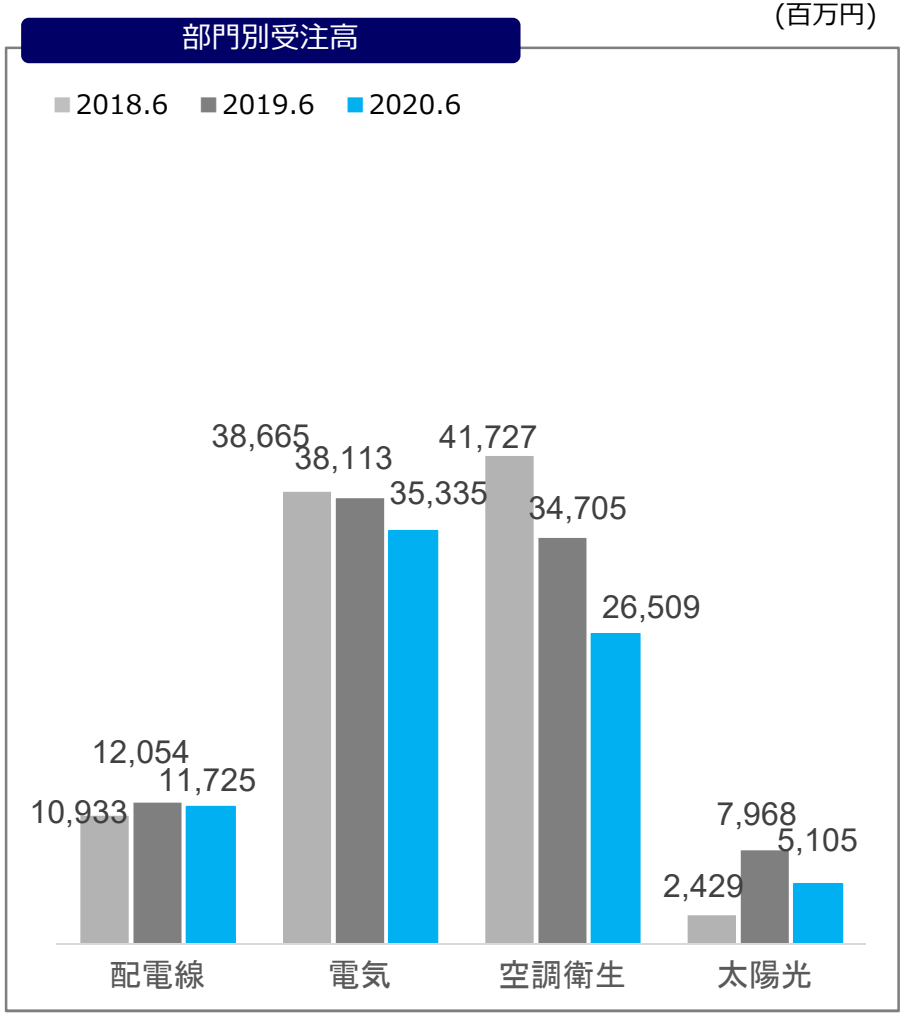


# 部門別受注・売上の状況　2021年3月期　第1四半期末
## ＜設備工事業＞

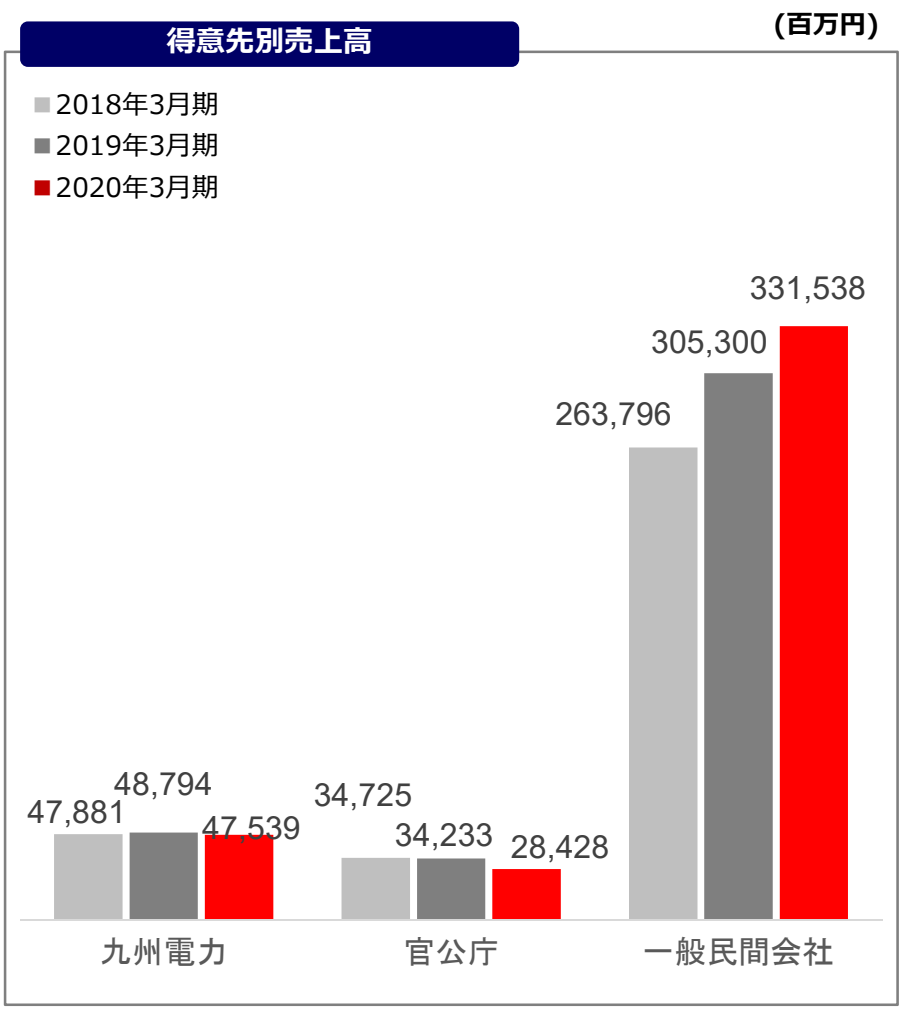
(百万円)

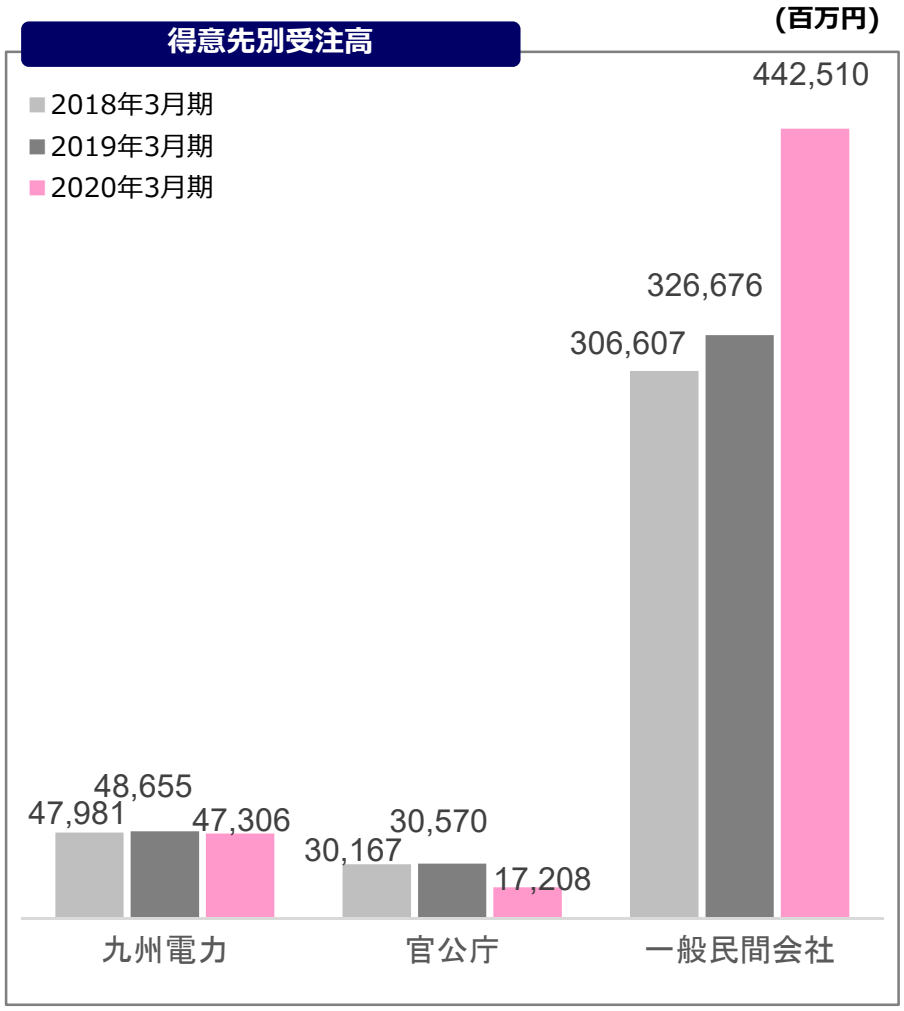



(百万円)



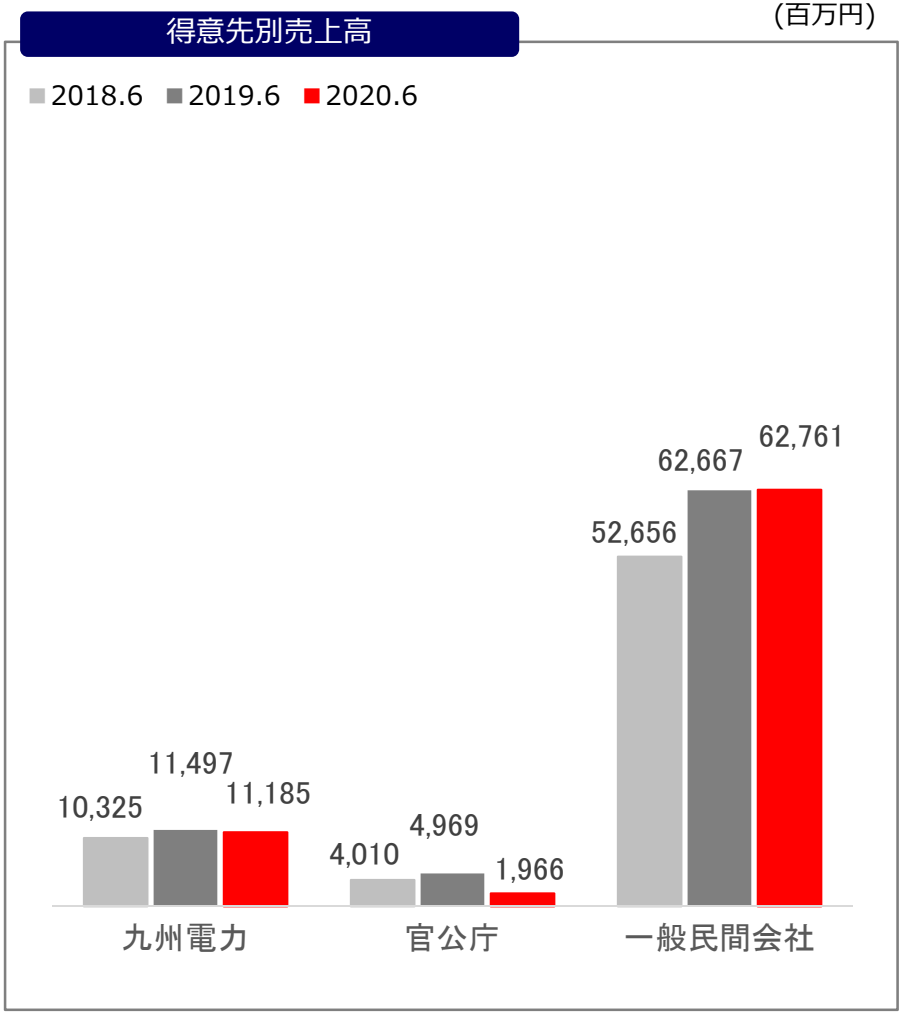
# 得意先別受注・売上の状況　2020年3月期　通期
## ＜設備工事業＞



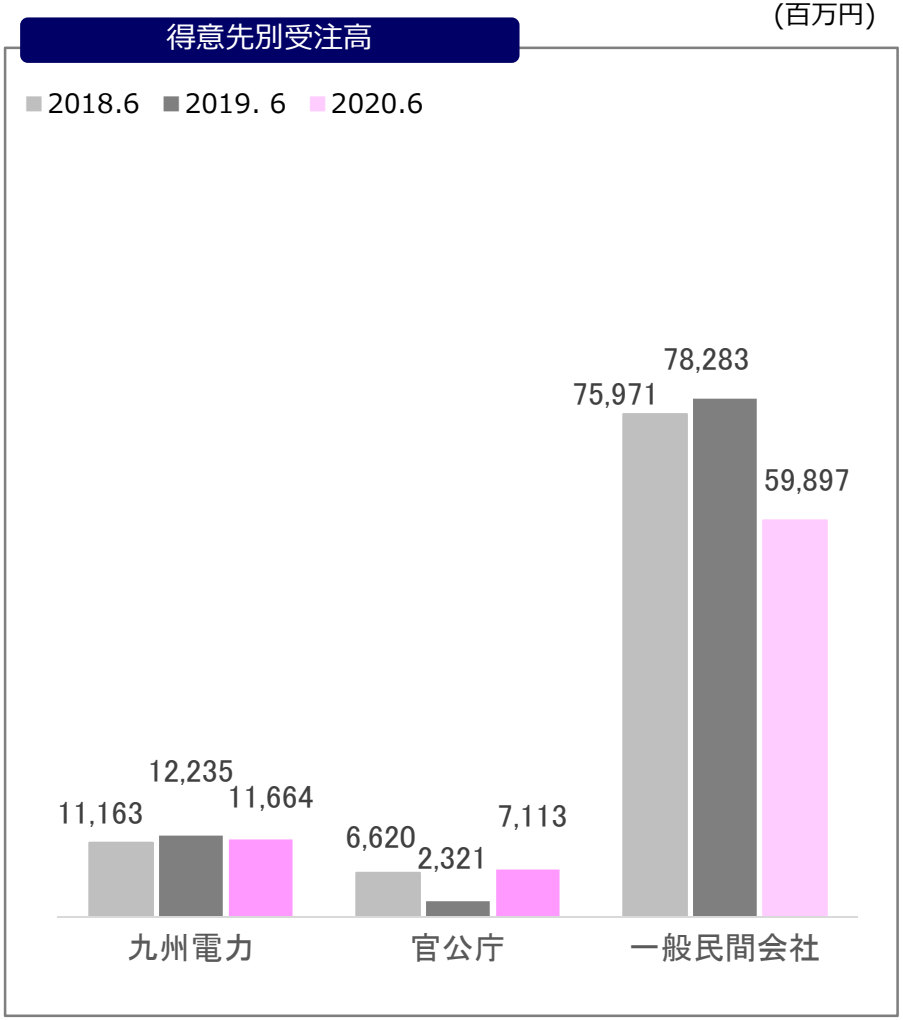



# 得意先別受注・売上の状況　2021年3月期　第1四半期
## ＜設備工事業＞

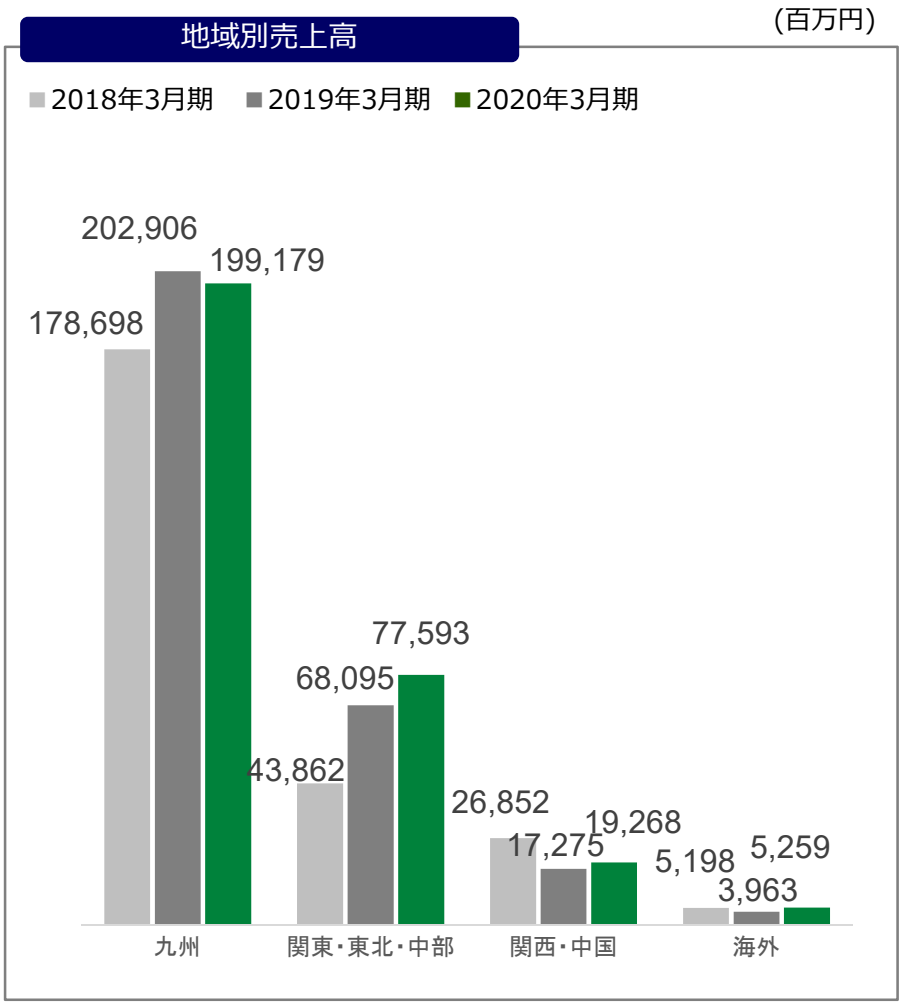
(百万円)

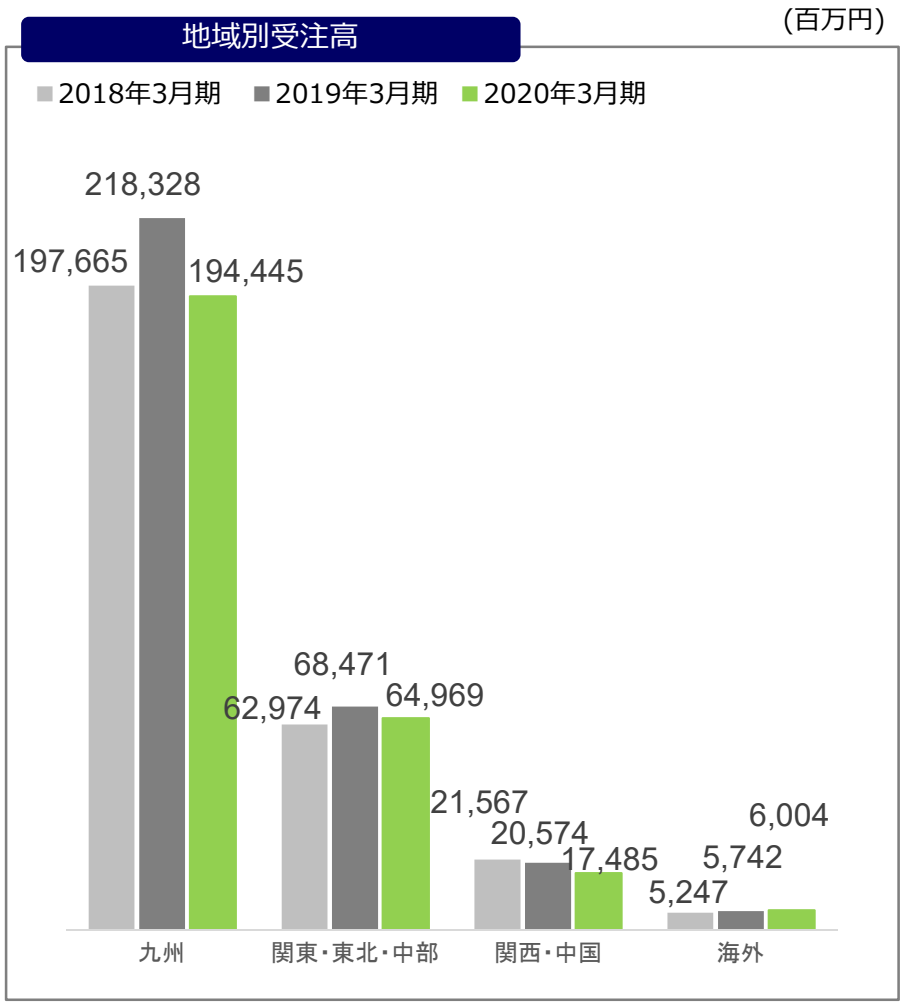



(百万円)

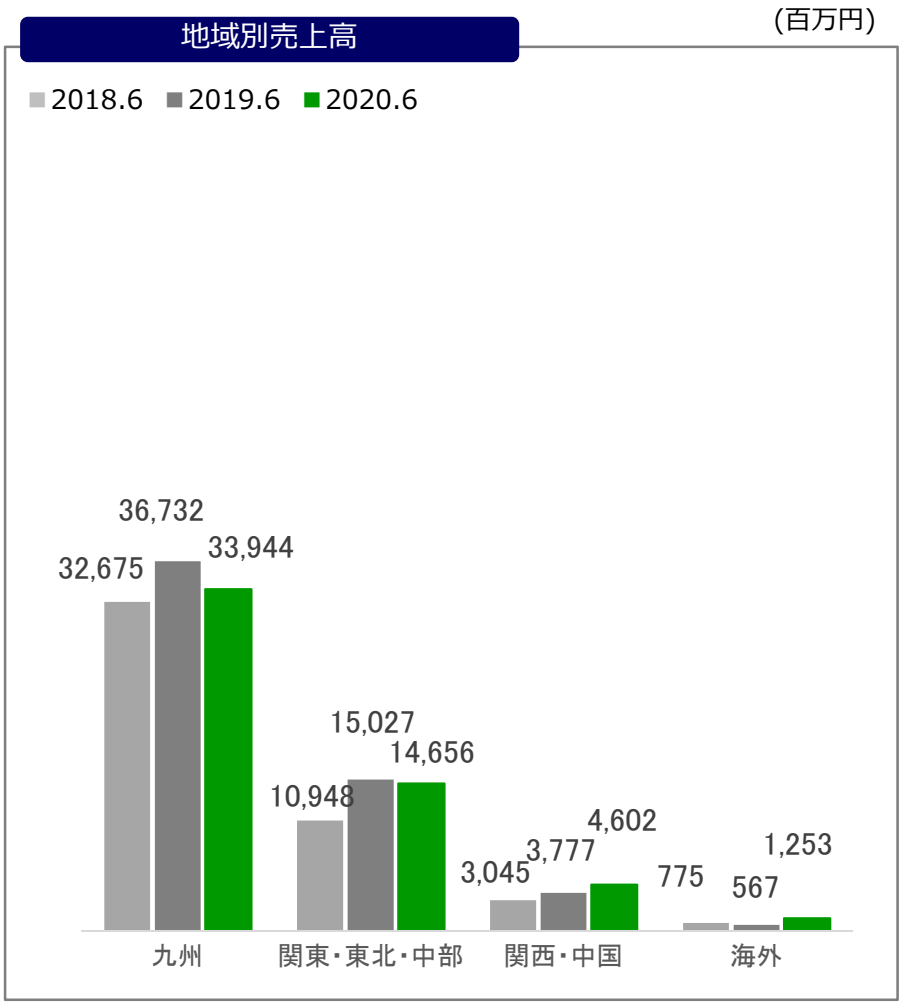


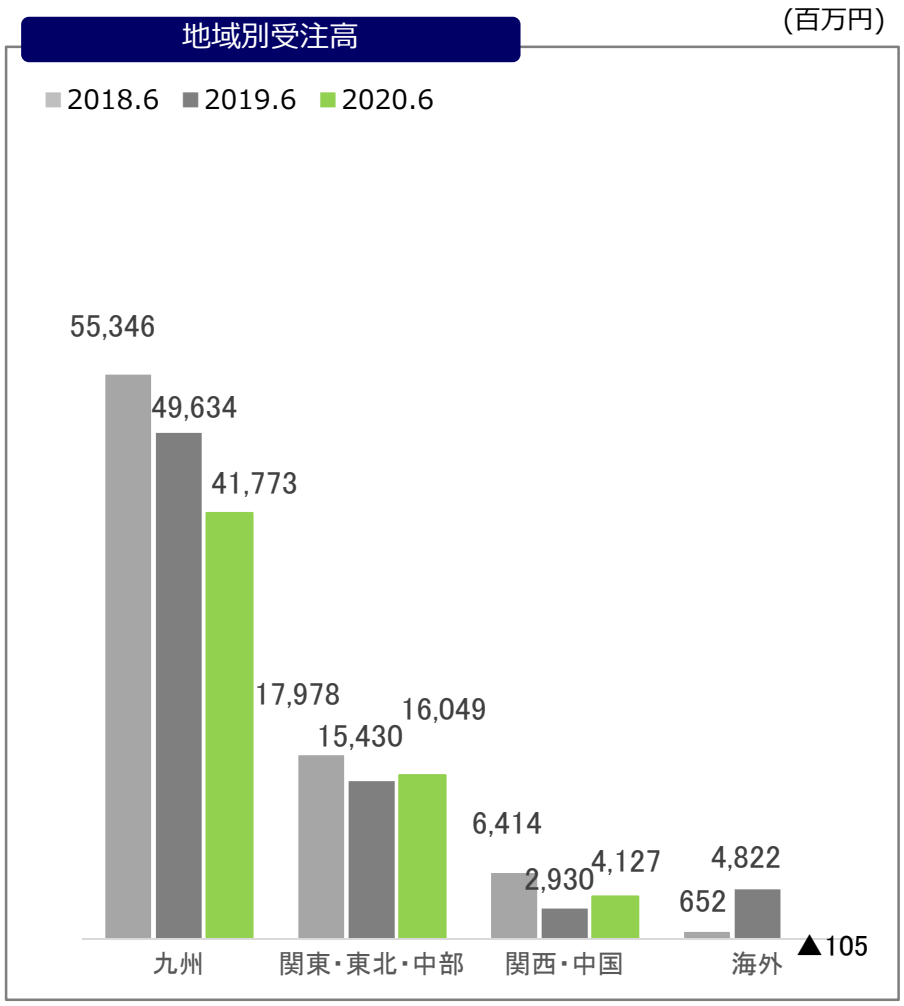
# 地域別受注・売上の状況　2020年3月期　通期
(太陽光発電工事を除く電気・空調衛生工事)



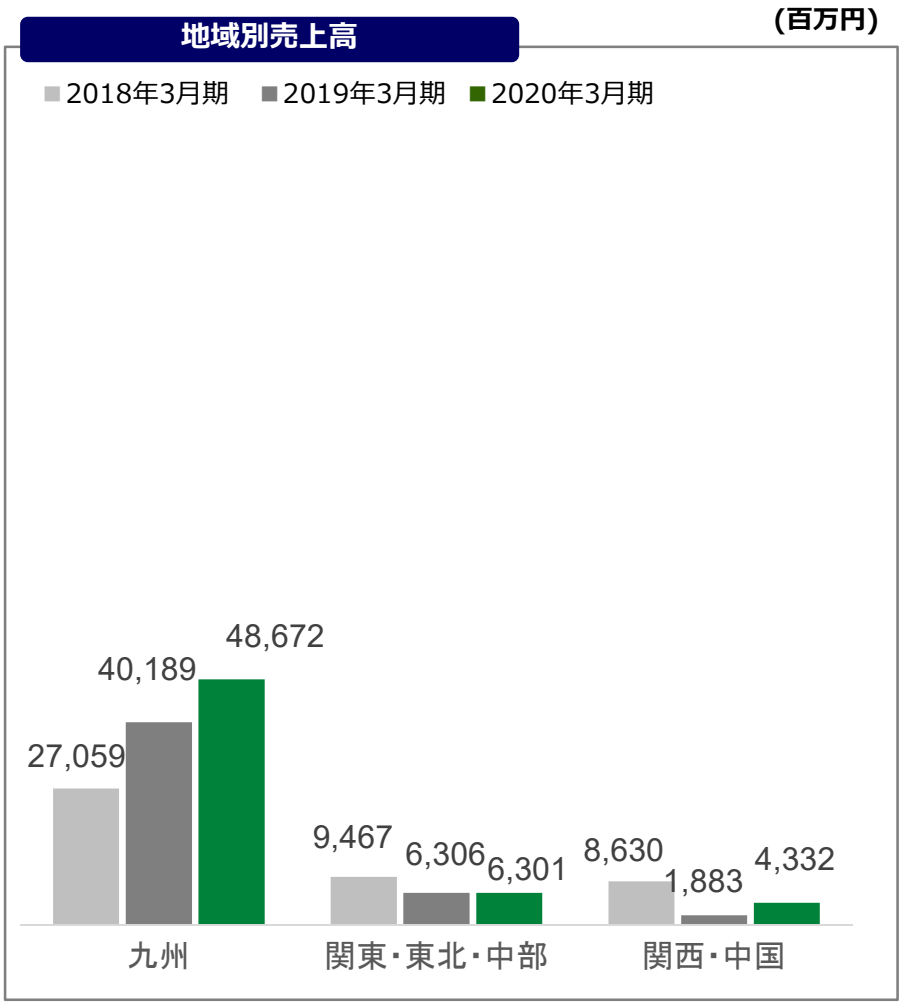



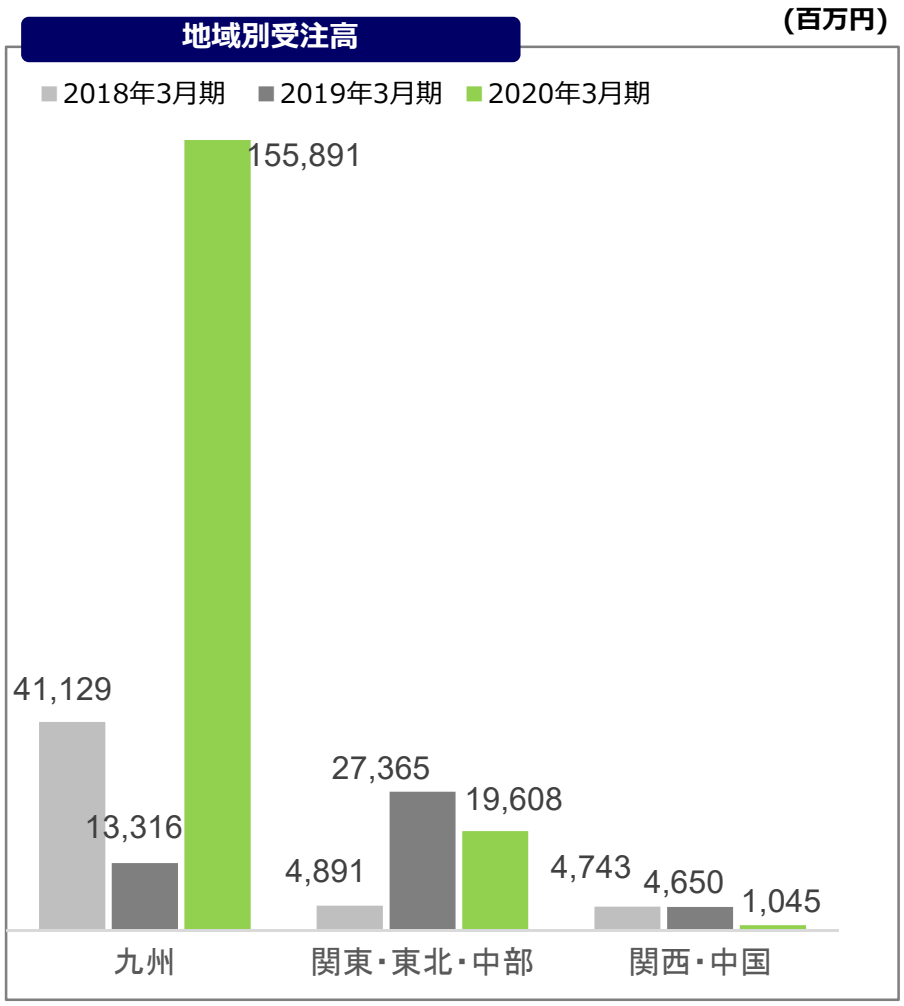
# 地域別受注・売上の状況　2021年3月期　第1四半期末
(太陽光発電工事を除く電気・空調衛生工事)



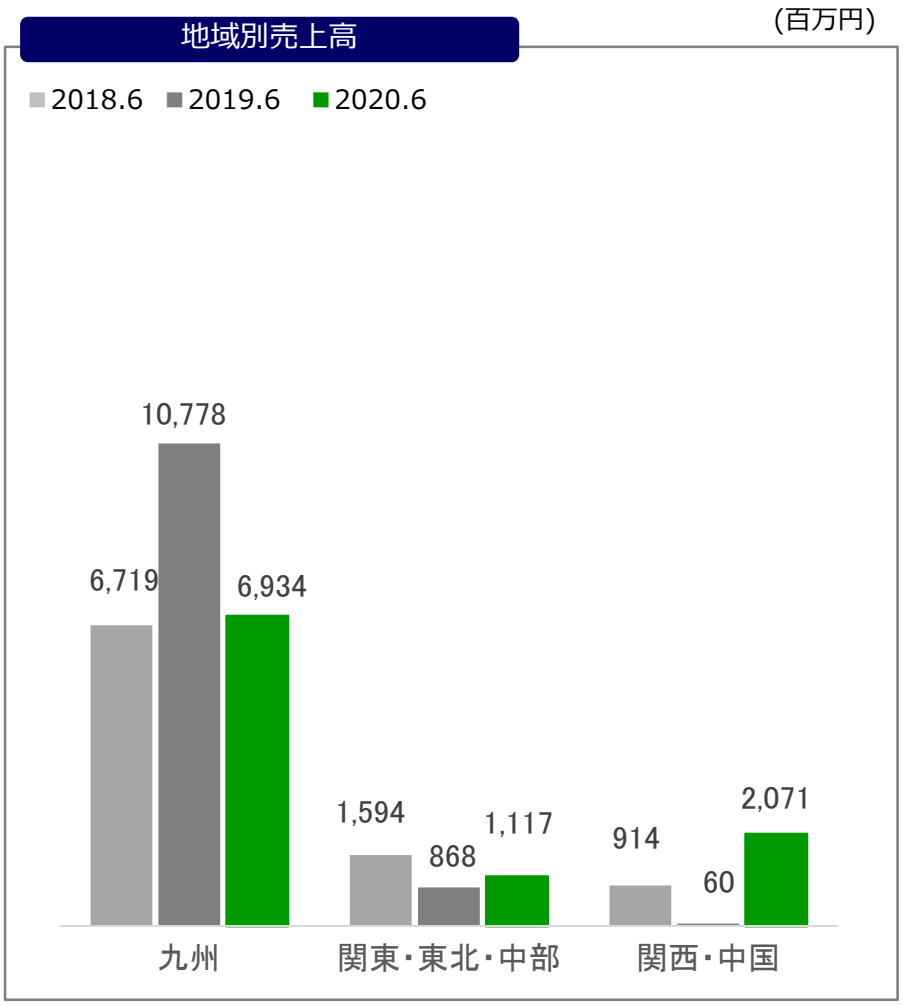



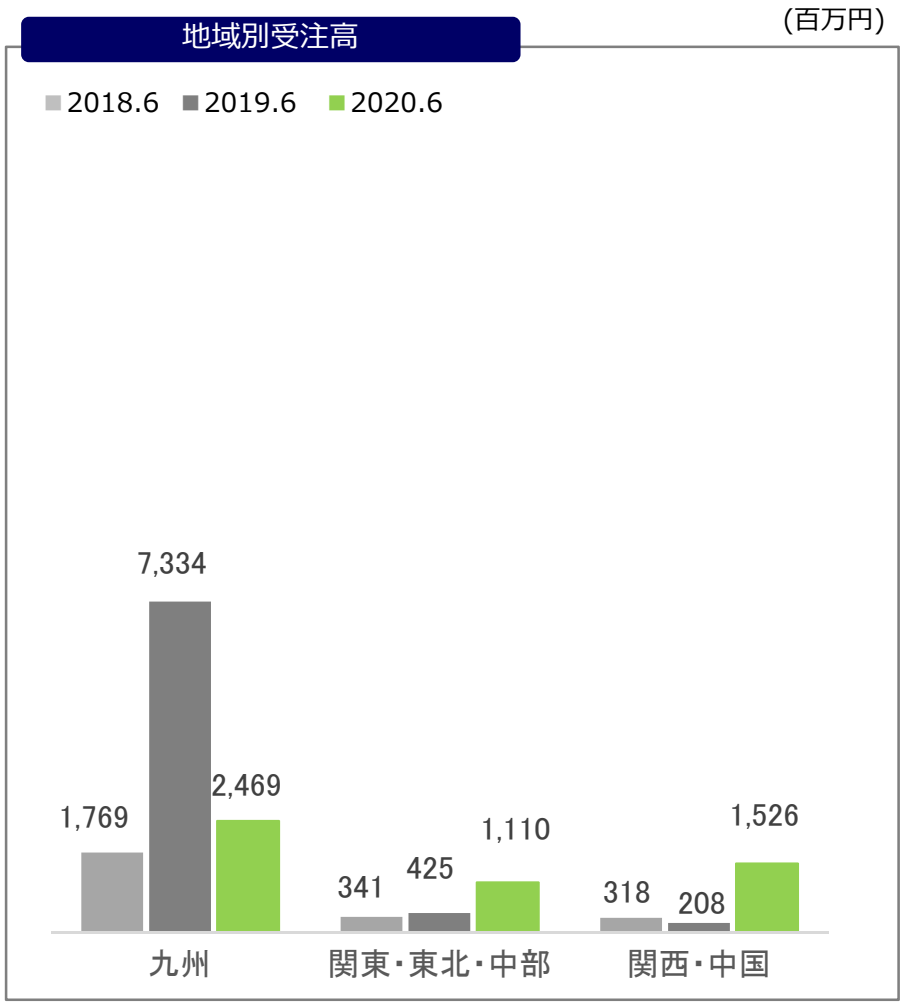
# 地域別受注・売上の状況　2020年3月期　通期
(太陽光発電工事)



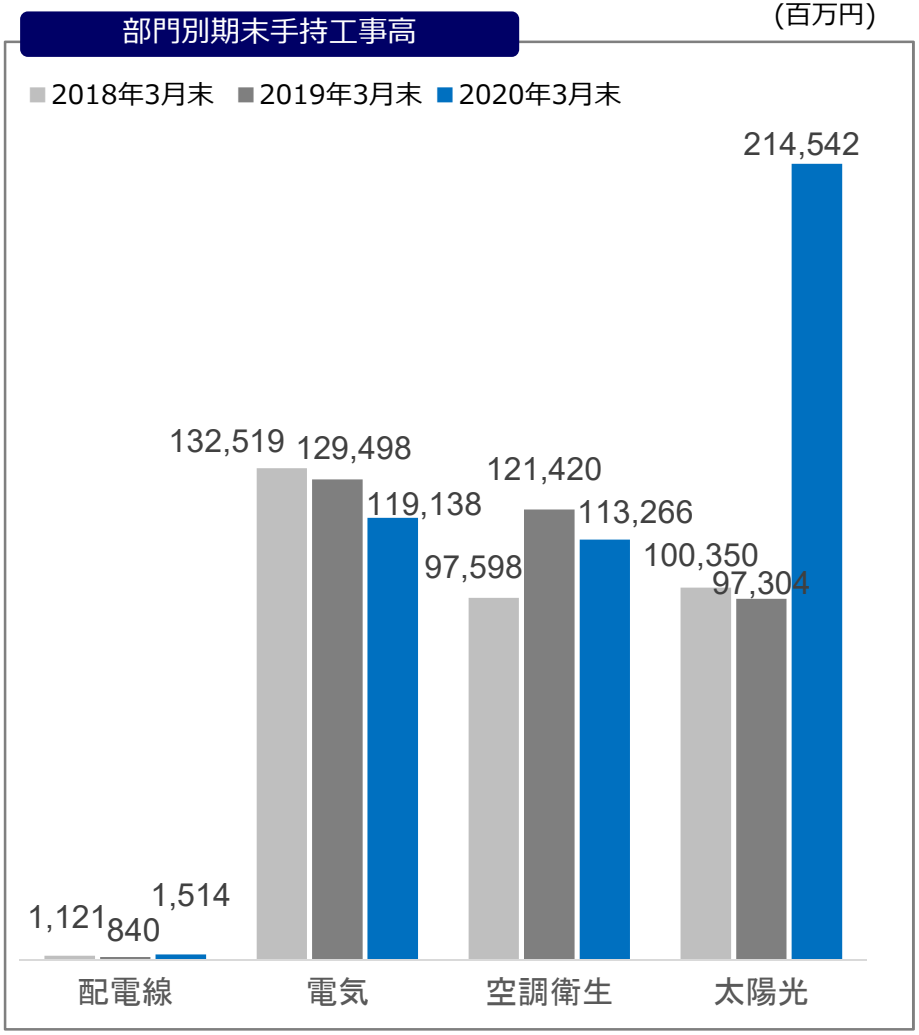
# 地域別受注・売上の状況　2021年3月期　第1四半期
(太陽光発電工事)



# 期末手持工事高の状況　2020年3月末
## ＜設備工事業＞

(百万円)



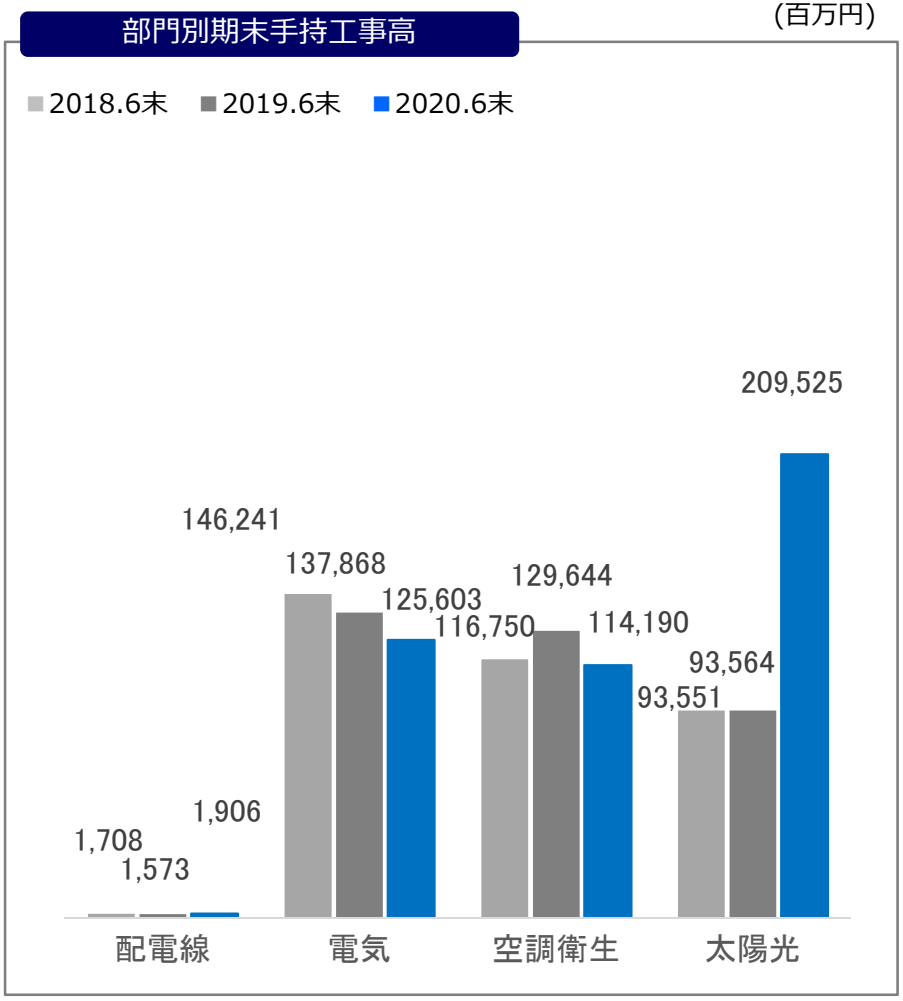

主な受注案件(2020年3月末 手持工事)

- (仮称)旧大名小学校跡地活用事業
- 三井不動産ロジスティクスパーク船橋Ⅲ期
  新築工事(電気・機械)
- (仮称)イオンモール川口新築工事
- イオンモール上尾新築工事
- 福岡市第２期展示場等整備事業に係る設備業務
- 日本通運グループ統合拠点計画
- 第３給食センター整備運営事業

**日本通運グループ**
**統合拠点計画**

# 期末手持工事高の状況　2020年6月末
## ＜設備工事業＞

(百万円)




主な受注案件(2020年6月 期末 手持工事)

・虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業
(B-2街区・C街区)
・ (仮称)虎ノ門二丁目計画(電気・空調・衛生)
・ (仮称)旧大名小学校跡地活用事業
・ (仮称)天神ビジネスセンター新築工事
・七尾メガソーラー発電所工事
・中城バイオマス発電設備建設工事　他

中城バイオマス
発電設備建設工事

虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業(B-2街区・C街区)

# 2021年3月期　計画

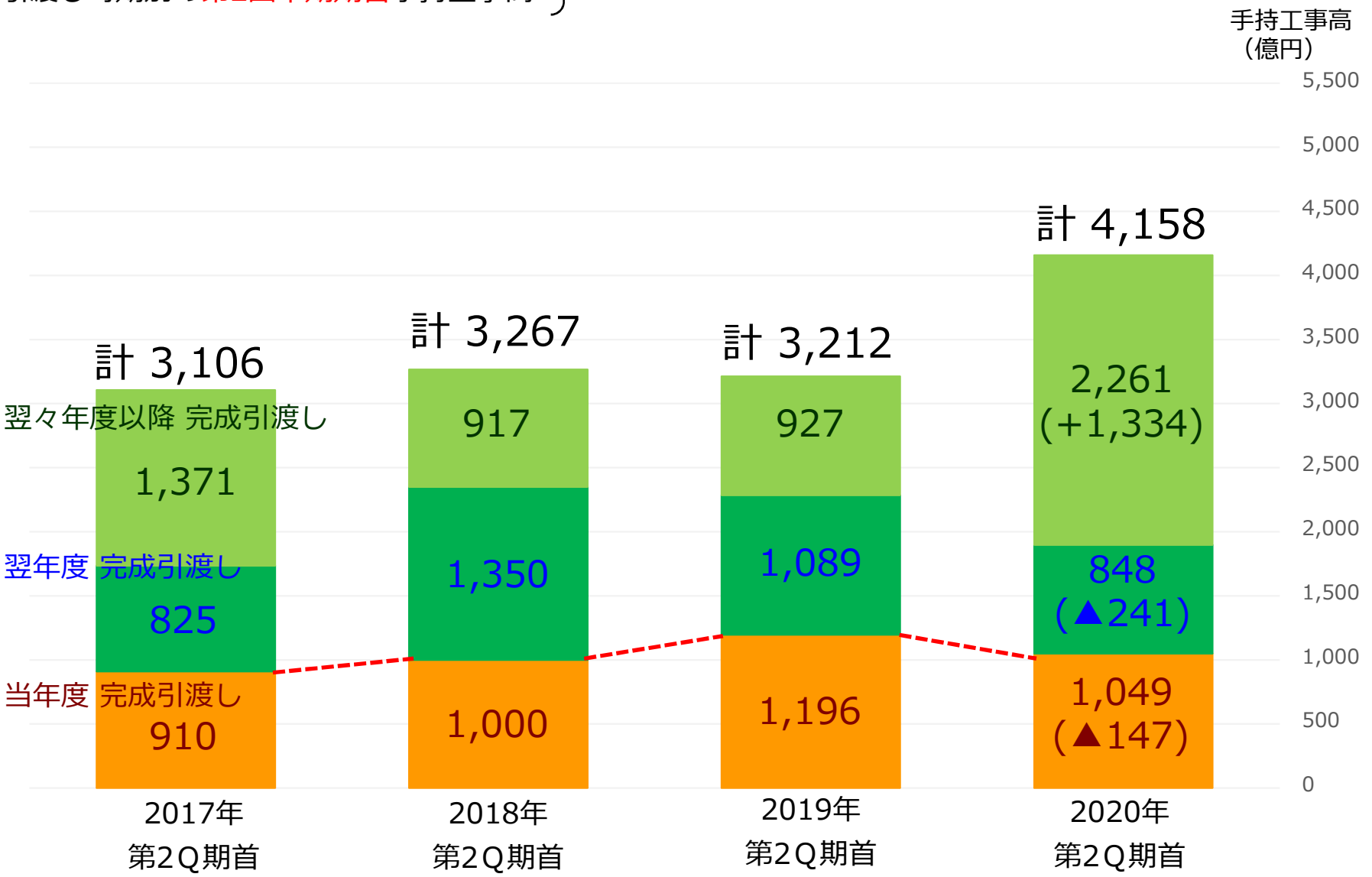
(百万円、下段は構成比)

| | 2020年3月期<br>実績 | 2021年3月期 計画 | |
|---|---|---|---|
| | | 公表値 | 前年比 |
| 売上高 | 428,939<br>(100.0%) | 413,000<br>(100.0%) | 96.3% |
| 売上総利益 | 60,093<br>(14.0%) | 56,400<br>(13.7%) | 93.9% |
| 営業利益 | 36,022<br>(8.4%) | 32,000<br>(7.7%) | 88.8% |
| 経常利益 | 38,643<br>(9.0%) | 34,000<br>(8.2%) | 88.0% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 26,245<br>(6.1%) | 22,500<br>(5.4%) | 85.7% |

| | | |
|---|---|---|
| 一株当たり当期純利益 | 370.00円 | 317.59円 |
| 配当金 | 100円<br>中間50円、期末50円 | 100円<br>中間50円、期末50円 |

# 手持工事高の分析（九電工単体：配電線除く）

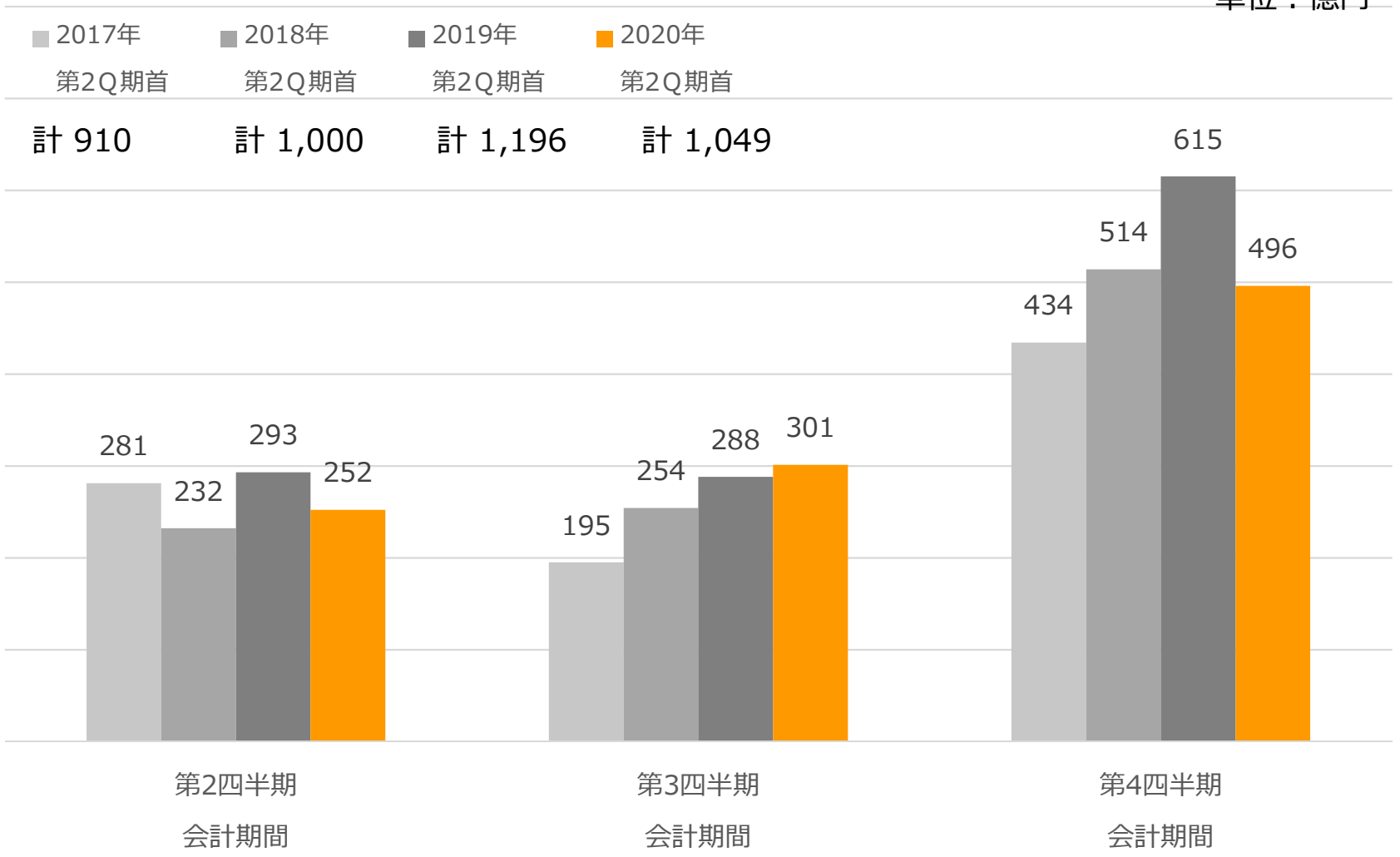
〔 引渡し時期別の第2四半期期首手持工事高 〕



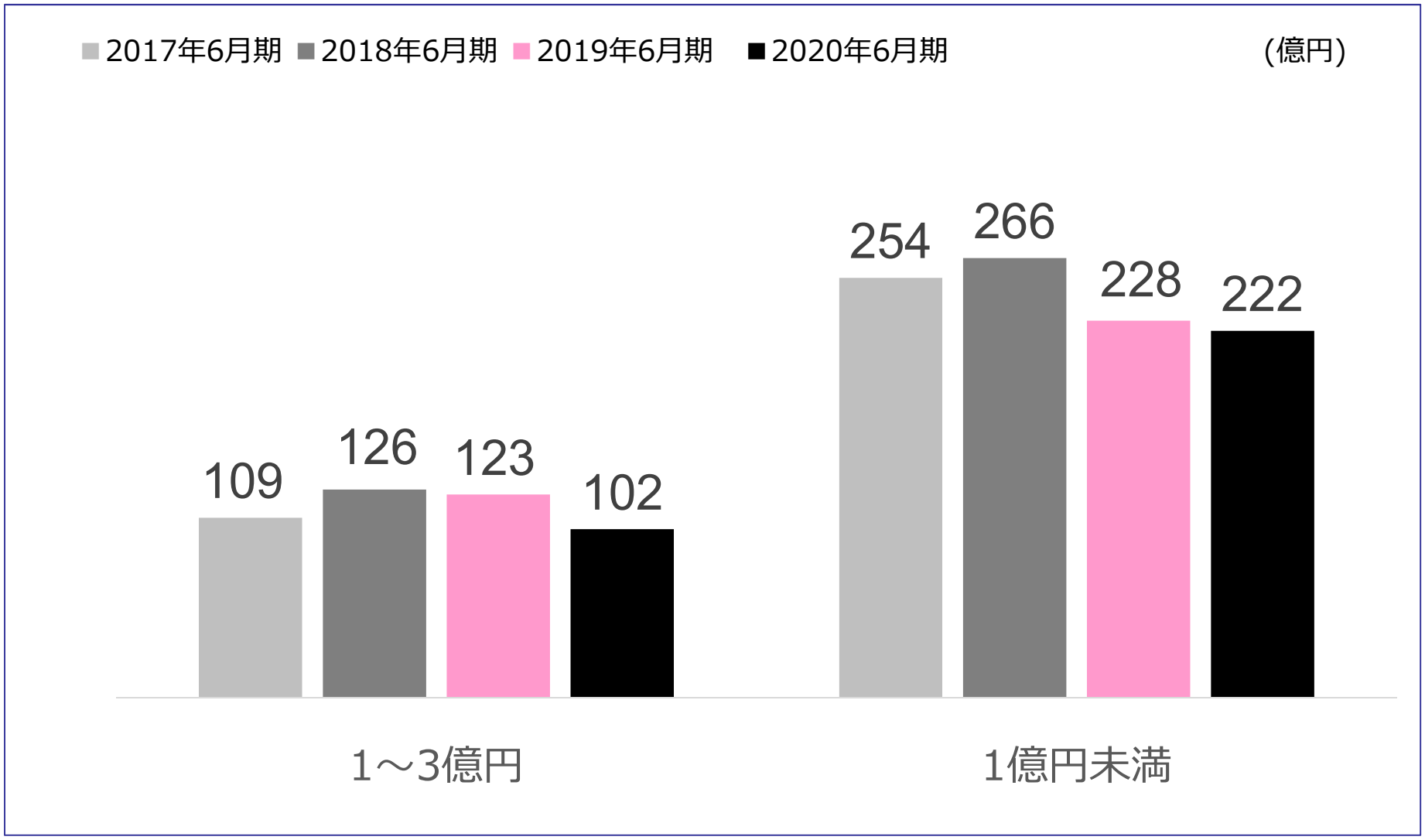
# 【ご参考】四半期会計期間別 完成引渡し予定額[第2四半期期首時点]
## 九電工単体：配電線除く

（第2四半期期首手持工事高の 四半期会計期間（3ヶ月）別の 引渡し予定額）

単位：億円

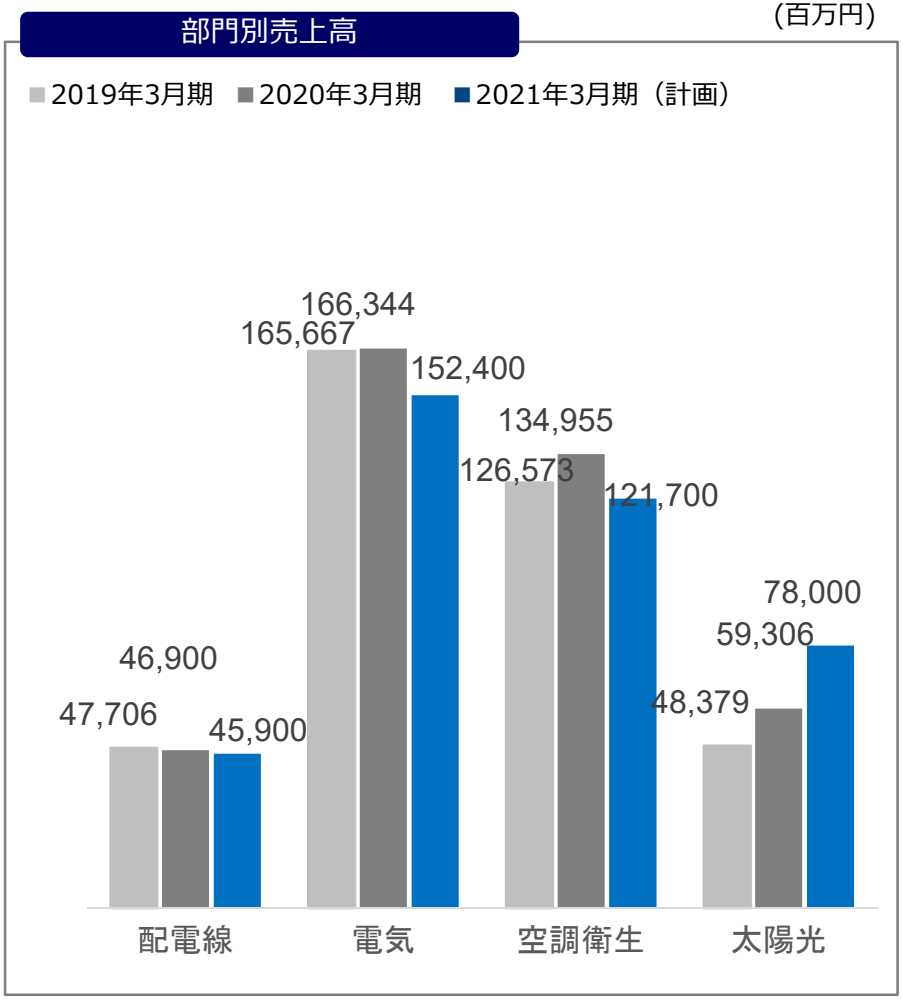


# 受注の工事規模別分析(九電工単体:配電線除く)

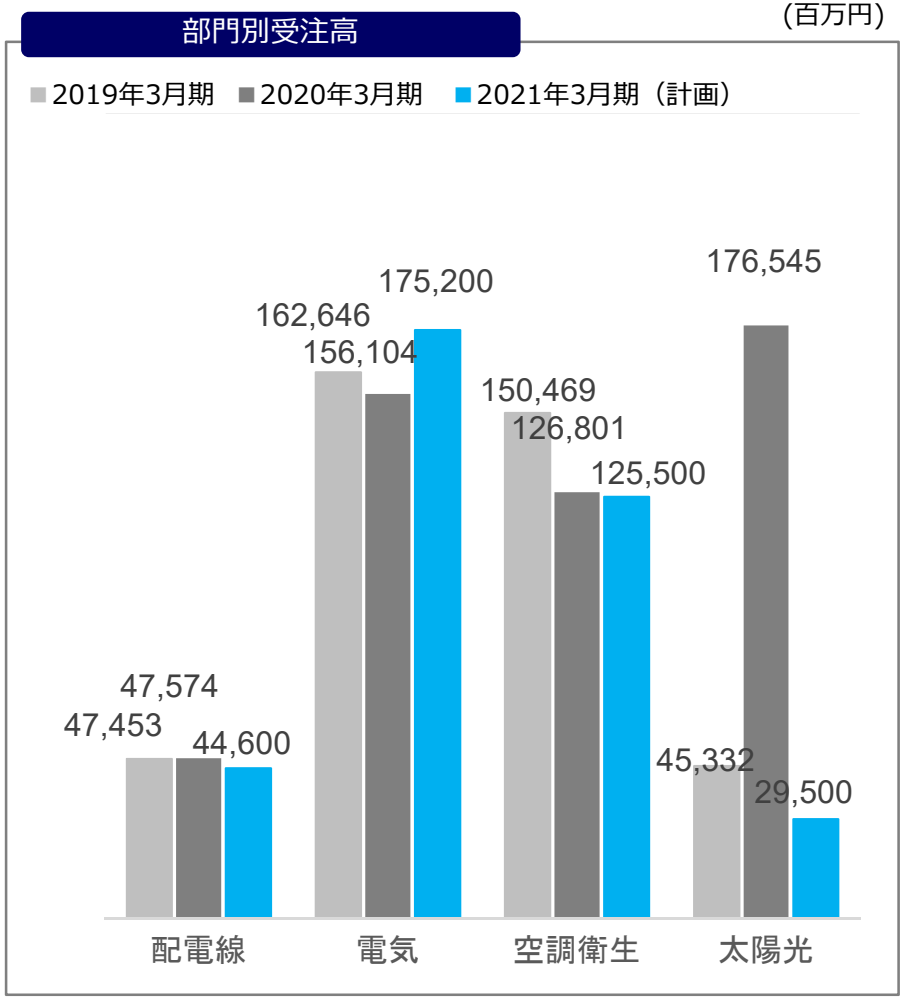


# 部門別受注・売上の計画 ＜設備工事業＞

(百万円)

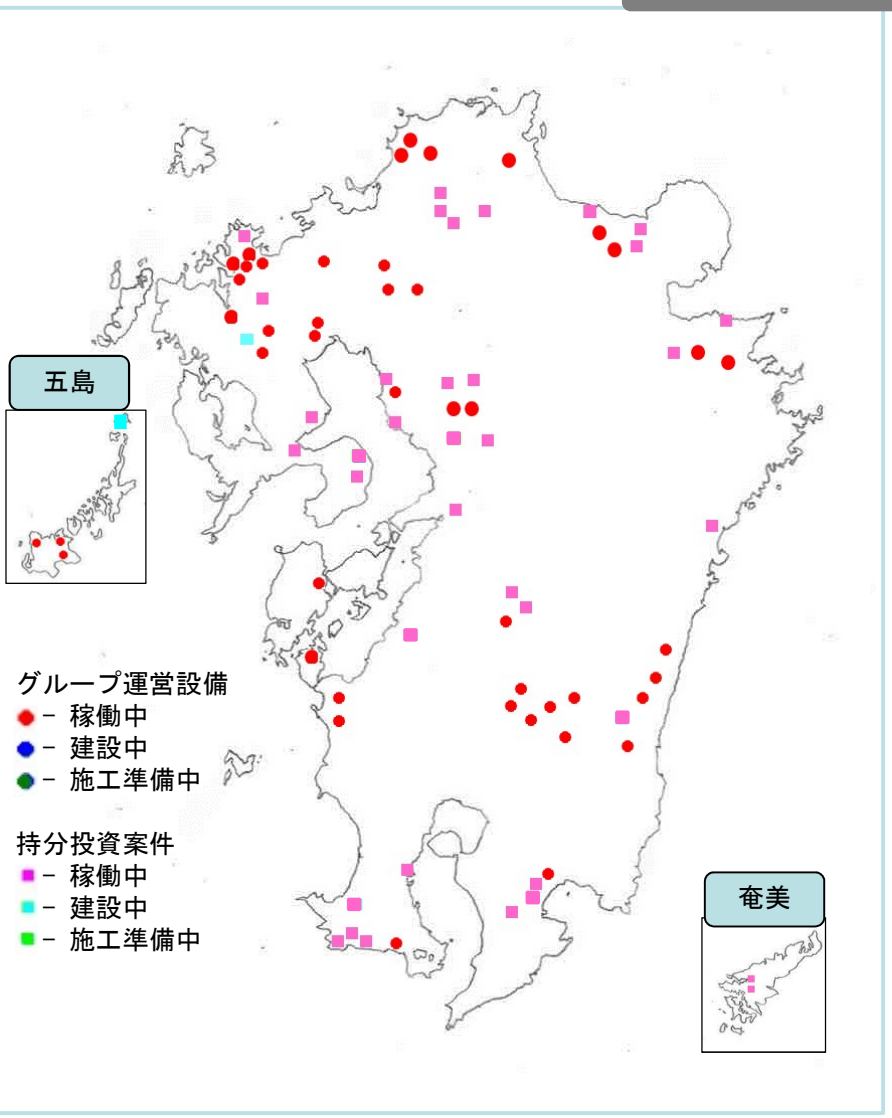


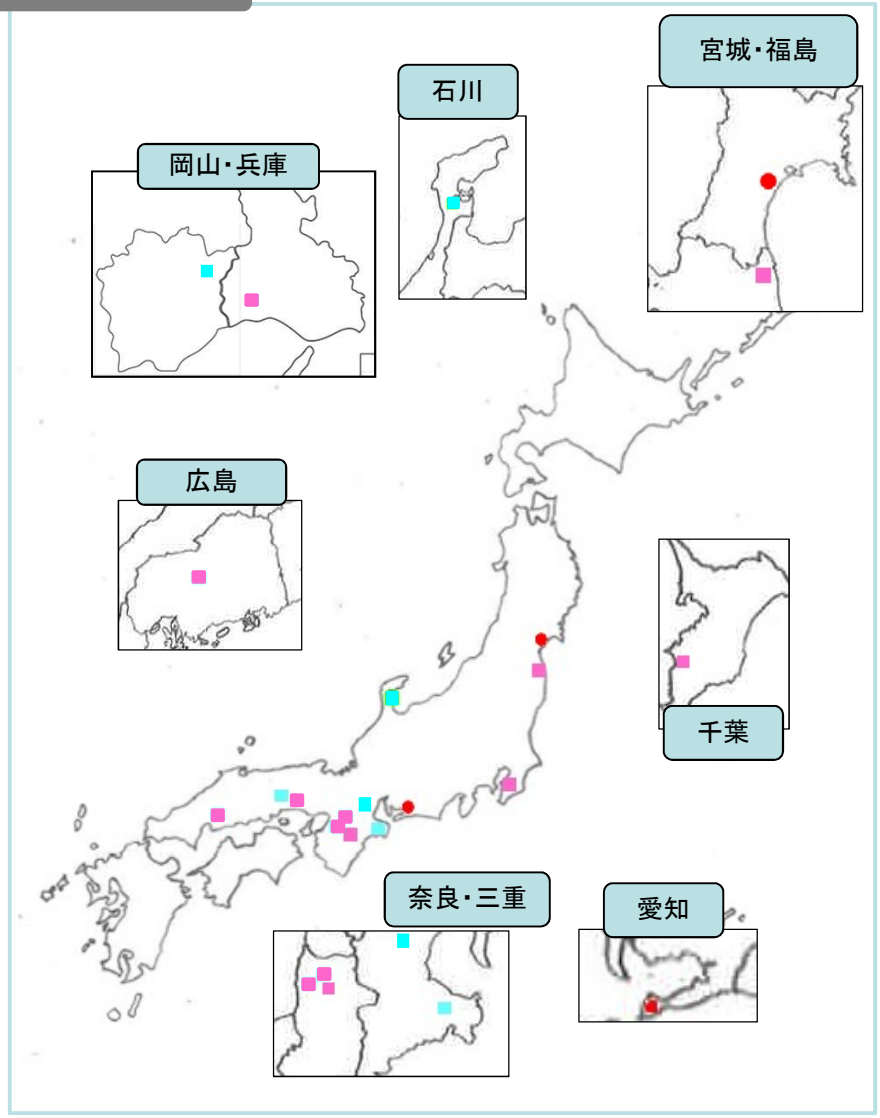

(百万円)



# 発電事業への投資の状況（太陽光発電）

メガソーラー発電所



# 発電事業への投資の状況（太陽光発電）

**グループ運営案件**

**（設備投資を行い、事業全体をその他事業売上高に計上）　定率法償却**

| | 発電所数 | 発電容量（事業全体） | 発電容量（持分相当） |
|---|---|---|---|
| 稼動 | 49 | 92MW | 87MW |
| 建設中 | - | - | - |
| 計画 | - | - | - |
| 合計 | 49 | 92MW | 87MW |

**ピーク時 利益 20～24億円**

**持分出資案件**

**（投資有価証券の取得を行い、持分相当を営業外収益に計上）　定額法償却**

| | 発電所数 | 発電容量（事業全体） | 発電容量（持分相当） |
|---|---|---|---|
| 稼動 | 48 | 530MW | 147MW |
| 建設中 | 6 | 697MW | 144MW |
| 計画 | - | - | - |
| 合計 | 54 | 1,227MW | 291MW |

**ピーク時 利益 18～20億円**

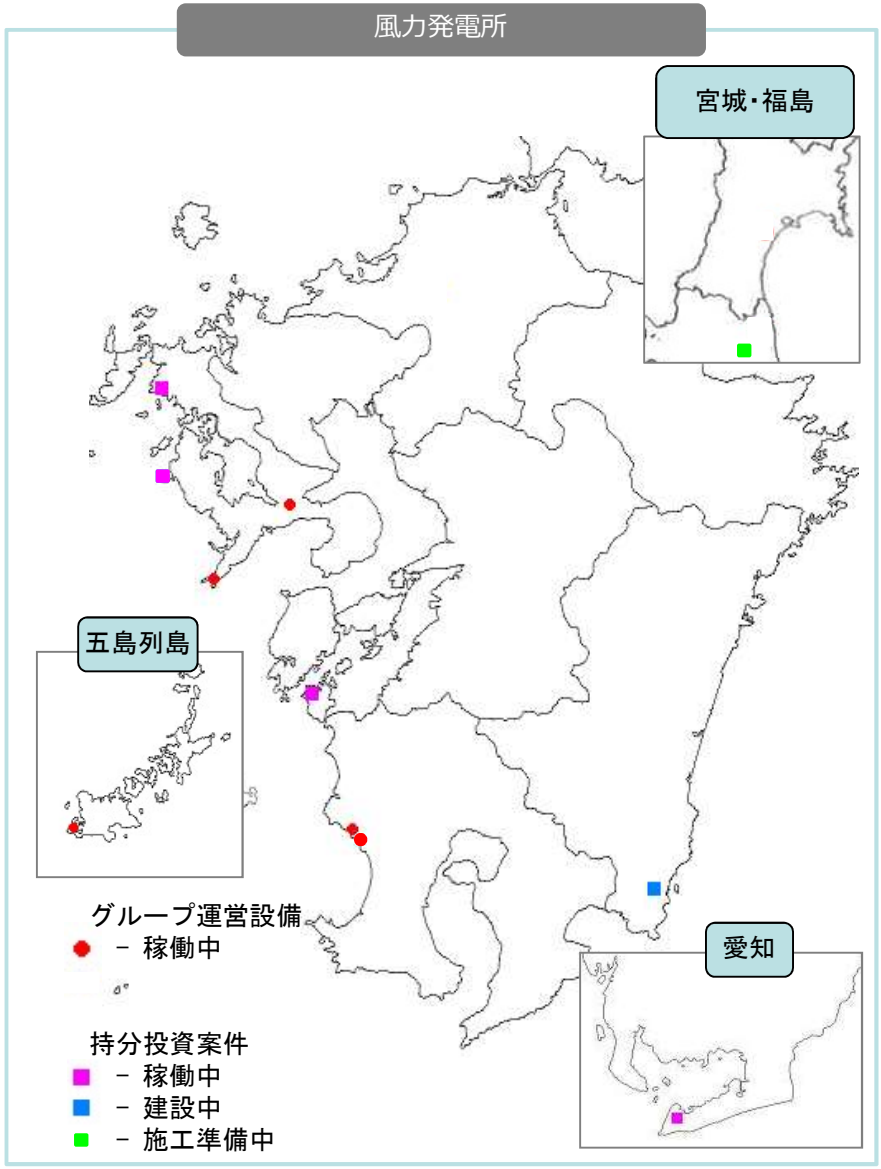
【出力抑制について】

4月～6月に、九州電力による出力抑制は、累計40回発令された。

当社の発電所では、平均して12回の制御となった。

・影響　当社グループにおける逸失利益は347百万円程度である。

# 発電事業への投資の状況（風力発電）




**グループ運営案件**（設備投資を行い、事業全体をその他事業売上高に計上）
主に定率法償却

| | 発電所数 | 発電容量（事業全体） | 発電容量（持分相当） |
|---|---|---|---|
| 稼動 | 5 | 38MW | 38MW |
| 建設中 | - | - | - |
| 計画 | - | - | - |
| 合計 | 5 | 38MW | 38MW |

**持分出資案件**（投資有価証券の取得を行い、持分相当を営業外収益に計上）
主に定率法償却

| | 発電所数 | 発電容量（事業全体） | 発電容量（持分相当） |
|---|---|---|---|
| 稼動 | 4 | 80MW | 18MW |
| 建設中 | 1 | 65MW | 32MW |
| 計画 | 1 | 15MW | 3MW |
| 合計 | 6 | 160MW | 53MW |

# 中期経営計画

# 新中期経営計画（2020～2024）

## メインテーマ

持続的な成長を**実現**するための経営基盤の確立 ～３つの**改革**の実現～

## 数値目標（連結）

**最終年度（2024年度）**

| | |
|---|---|
| 売上高 | 5,000 億円 |
| 経常利益 | 500 億円 |
| 経常利益率 | 10.0 %以上 |
| ROIC（投下資本利益率） | 10.0 %以上 |

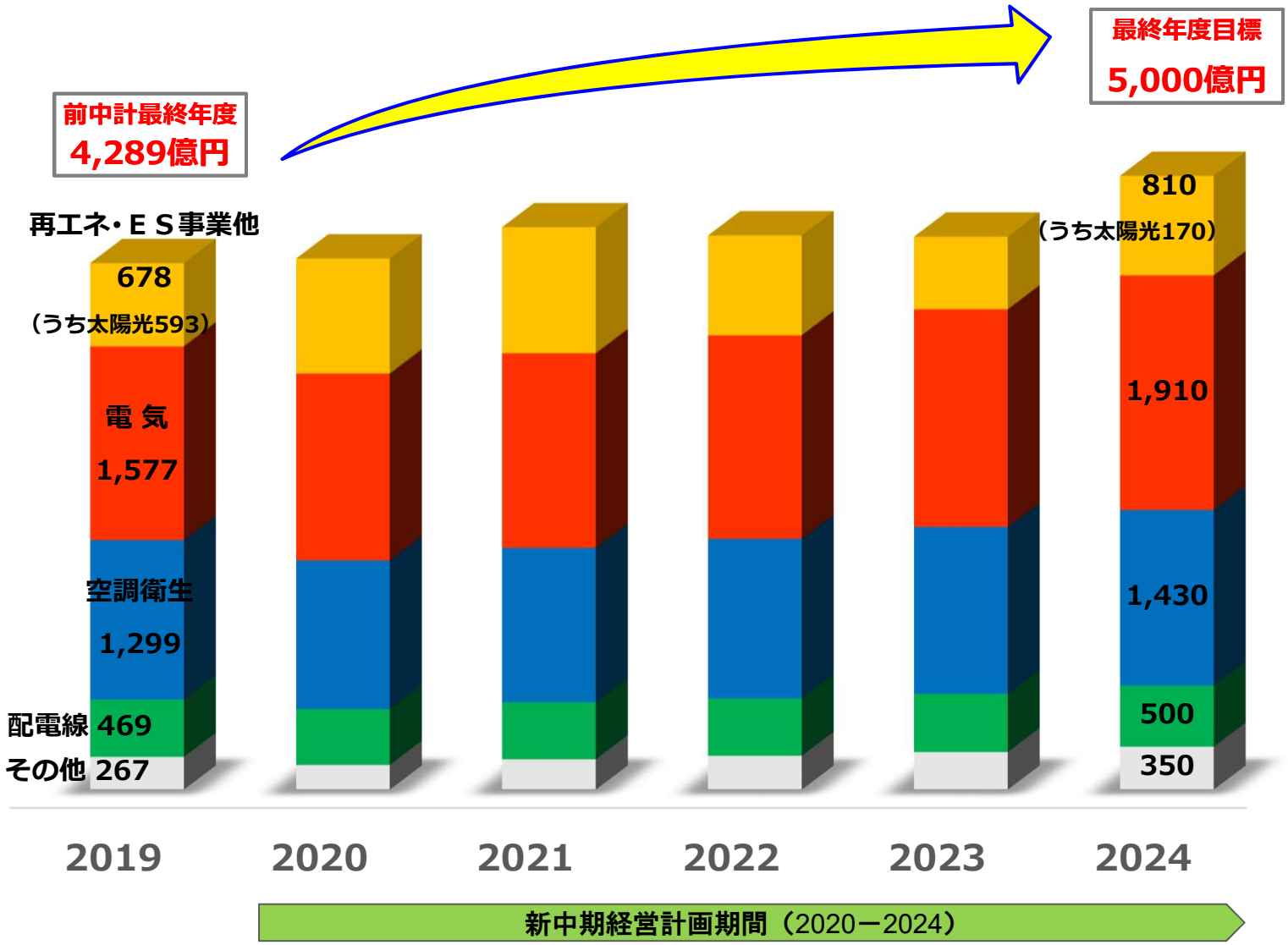
**（売上高の内訳）**

| | |
|---|---|
| 配電線 | 500 億円 |
| 電気･空調衛生 | 3,340 億円 |
| 再エネ･ES事業他 | 810 億円 |
| その他 | 350 億円 |

※企業の「資本効率性」をより正確に測る指標として、ROICを採用した。

# 新中期経営計画（2020～2024）

# 新中期経営計画（売上計画ロードマップ）



# 新中期経営計画（SDGsとの関連性）

中期経営計画に掲げる取り組みを着実に進め、事業活動を通じて、当社グループが行っている事業と親和性の高いSDGsの実現に貢献していく。

【SDGsの目標との関連性】

| ESG | 重要課題 | 中期経営計画における具体的取り組み | ＳＤＧｓ |
|---|---|---|---|
| 環　境<br>（Environment） | 1）環境に配慮した<br>まちづくりの推進 | ○コンセッション・PPP/PFI事業への取り組み強化<br>（水道・ごみ処理場・空港/港湾・公共施設等への参画）<br>○新たなビジネス領域の開拓（不動産・農業再生等） | |
| | 2）省エネ・創エネ技術の強化 | ○再生可能エネルギー発電事業の拡充<br>○エネルギーサービス（ＥＳ）事業の拡大<br>○九電工ＥＭＳ事業（インドネシア）の強化 | |
| 社　会<br>（Social） | 3）施工品質および安全の確保 | ○配電線工事を通じた安定的な電力供給の維持<br>○生産性の向上<br>○先端技術及びITの研究開発促進（省力化・合理化の推進）<br>○重要災害の撲滅 | |
| | 4）安定した採用の継続と<br>人財育成の推進 | ○技術者採用の強化（採用の多様化）<br>○夢・達成感・自信に繋がる育成計画の再構築<br>○経営幹部・次世代リーダーの育成 | |
| | 5）働きがい・やりがいのある<br>職場環境の構築 | ○若手技術者の離職率抑制<br>○働き方改革の徹底による休日確保と時間外作業の縮減<br>○ダイバーシティの推進 | |
| 企業統治<br>（Governance） | 6）コンプライアンス経営の<br>強化・実践 | ○不正行為撲滅に向けた再発防止策の確実な実行<br>○九電工コーポレート・ガバナンスガイドラインに基づく<br>ガバナンス体制の強化・徹底 | |

# 人材の採用実績（九電工単体）と要員計画

« 技術・技能者 の定期採用人数実績»

| | 2007～2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 技術・技能合計 | 200名程度 | 241 | 262 | 344 | 384 | 342 | 336名 |
| 高卒 | 150名程度 | 163 | 177 | 248 | 271 | 253 | 253名 |
| 大卒 | 50名程度 | 78 | 85 | 96 | 113 | 89 | 83名 |

« 2020年4月　採用実績の他社比較 »

| | 九電工 | 電気工事大手 | 空調工事大手 | ｽｰﾊﾟｰｾﾞﾈｺﾝ |
|---|---|---|---|---|
| 全職種合計 | 356名 | 330～360 | 70～100 | 250～350 |
| 高卒 | 253名 | 200名程度 | 10名程度 | 10名程度 |
| 大卒 | 103名 | 100～160 | 70～100 | 250～320 |

« 2025年３月期までの期末要員数計画»

| | (参考) 2020.3 | 2021.3 | 2022.3 | 2023.3 | 2024.3 | 2025.3 | **計画中増減** |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電　気　部　門 | 2,274 | 2,340 | 2,475 | 2,599 | 2,750 | 2,893 | **約+550名** |
| 空　調　衛　生　部　門 | 1,138 | 1,192 | 1,269 | 1,355 | 1,435 | 1,517 | **約+320名** |
| 電気・空調衛生部門の期末要員数 | 3,411 | 3,532 | 3,744 | 3,954 | 4,185 | 4,410 | **約+870名** |
| 配　電　部　門 | 1,642 | 1,612 | 1,618 | 1,632 | 1,641 | 1,666 | 約+50名 |
| そ　の　他 | 1,446 | 1,417 | 1,407 | 1,402 | 1,397 | 1,408 | |
| 九電工単体従業員数 | 6,500 | 6,561 | 6,769 | 6,988 | 7,223 | 7,484 | **約+900名** |
| グループ従業員数 | 10,018 | | | | | 12,000 | **約+2,000名** |

グループ従業員10,000名の内、約8,100名が技術者

| | (九電工 ) | | (子会社 ) | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **技能工数** | 約　2,100 | + | 約　2,000 | = | 約　4,100 |
| **施工管理者数** | 約　3,000 | + | 約　1,000 | = | 約　4,000 |

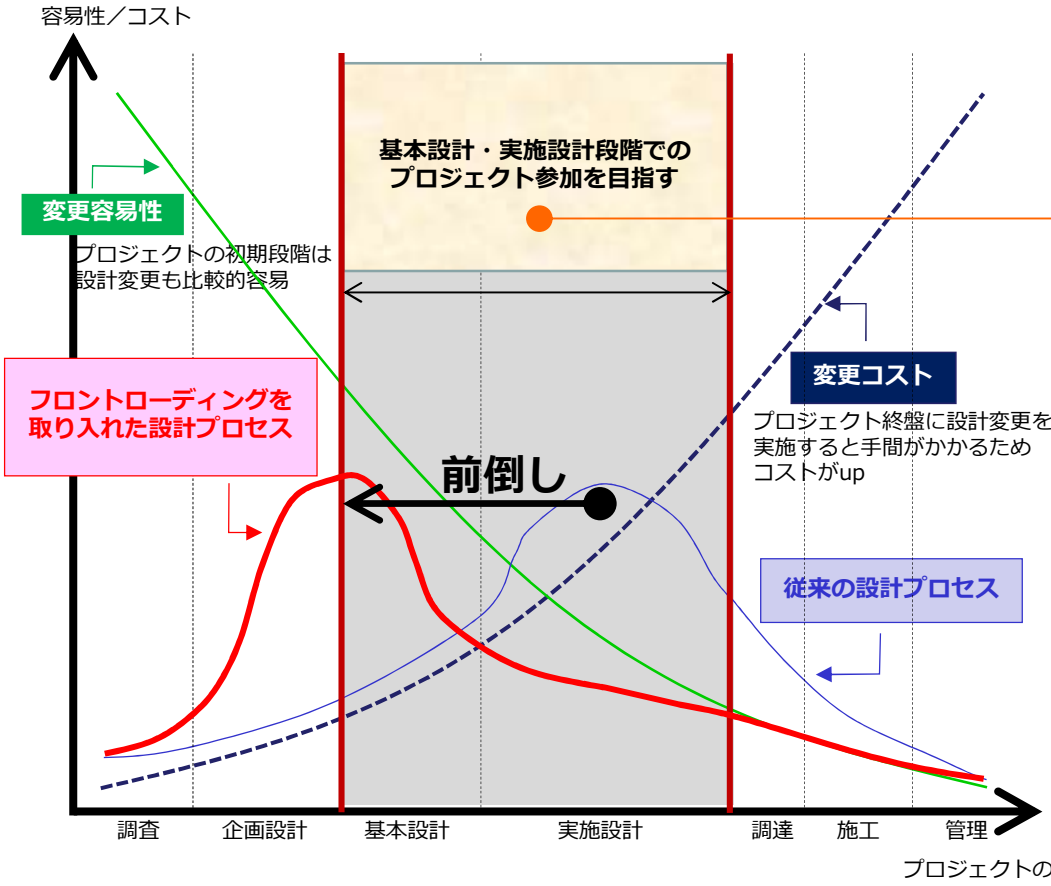
# Appendix

# フロントローディングの取り組み

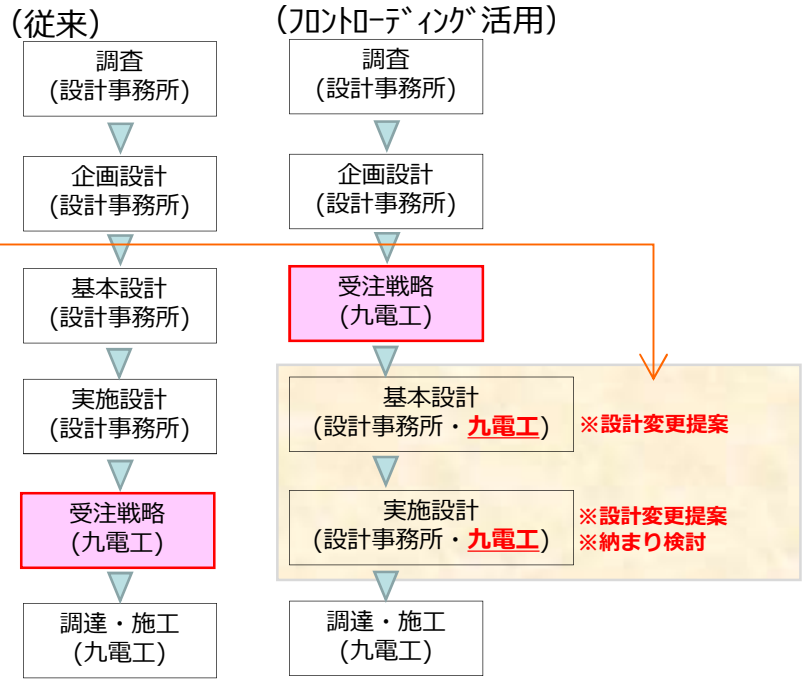
## 設計段階から関わるメリット

- **[設計時] 設計初期段階からの設計変更可能(有効な提案、コスト低減を見込むことができる)**
- **[契約時] コスト低減が加味された有利な内容での受注が可能**
- **[施工時] 現場担当者へのスムーズな引継ぎが可能**

### <フロートローディングの概念>

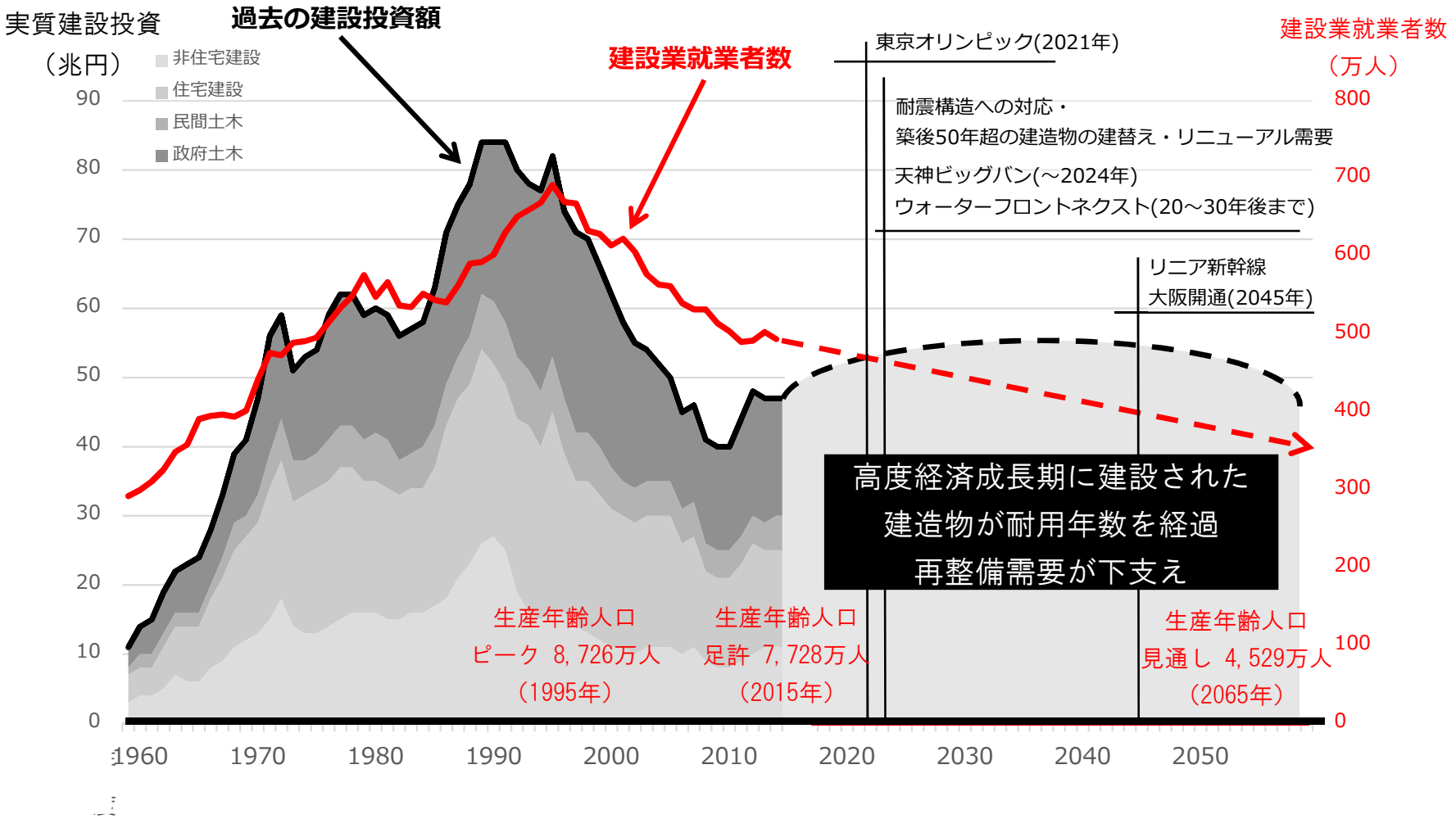



### <当社におけるイメージ>



# 建設業界の予測

建設需要は、大型プロジェクトや 建設後50年を超えるインフラの更新が下支え。
生産年齢人口減少により人手不足が加速、供給力が急減。



# 人財育成を推進

## 九電工グループの教育拠点 「九電工アカデミー」

九電工アカデミー外観

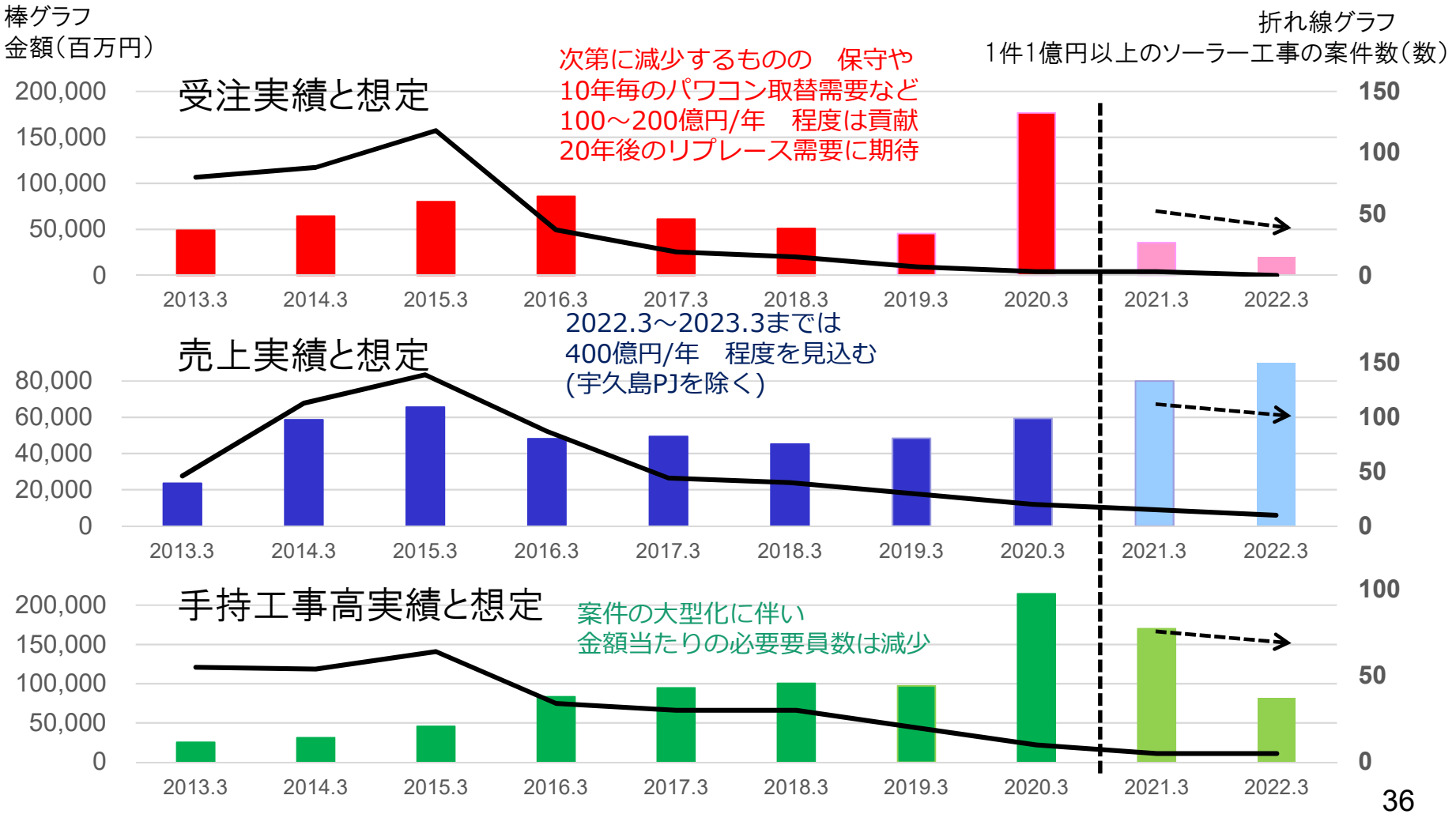
過去の教訓から学ぶ「安全伝承館」

配電昇柱研修

電気配線研修

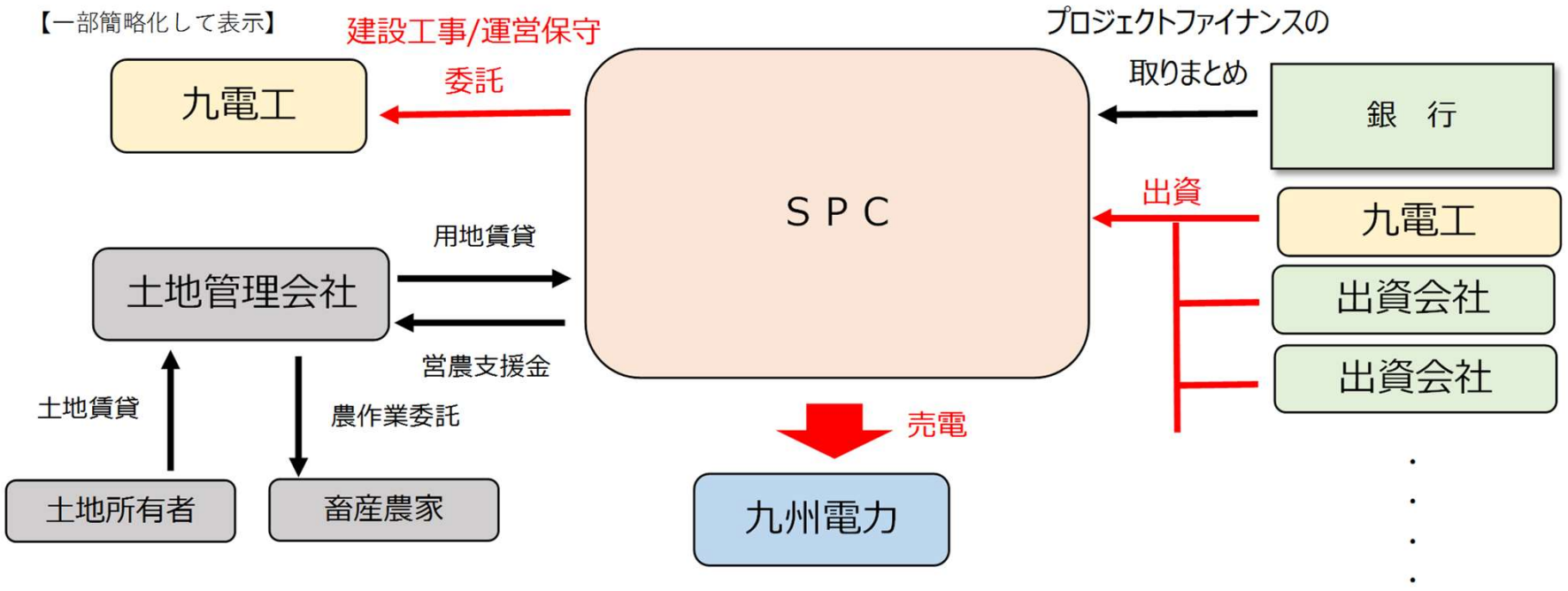
# 太陽光発電工事

案件開発力・投資判断力が評価され、異業種パートナーとの強固なコネクションを構築。
現在は、開発に時間を要した大型案件の情報が多く、パートナーからの特命受注を期待。
元施工業者として10年後のパワコン取替需要や20年後のリプレース需要の取込みを目指す。



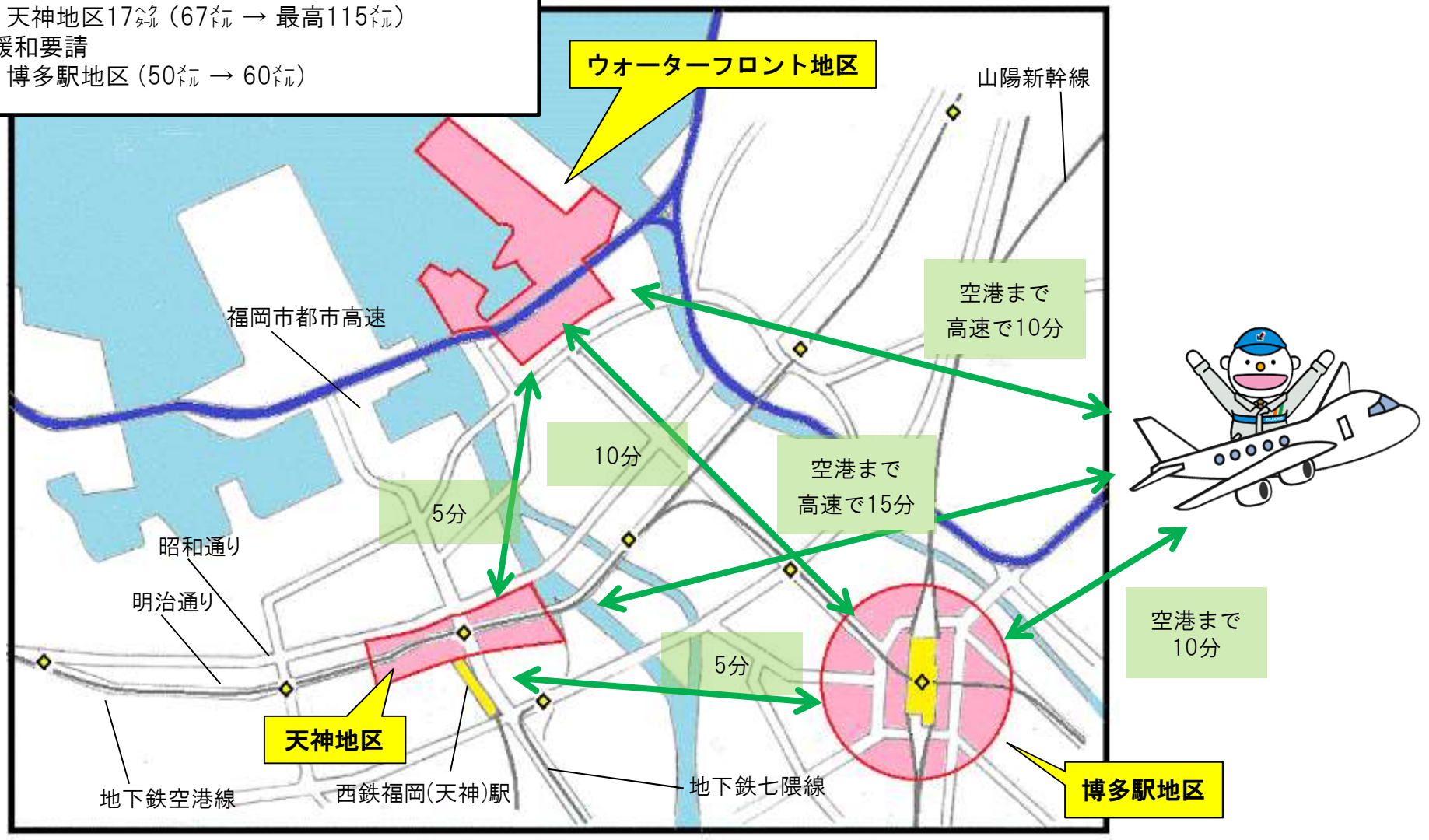
# 宇久島メガソーラー発電事業

| 事 業 概 要 | | | |
|---|---|---|---|
| 事業内容 | 営農型を併用したメガソーラー発電事業 | ＦＩＴ単価 | 40円/w |
| 運転開始予定月 | 2023年7月を予定 | 建設工事 | 九電工　1,400億円程度 |
| 発電出力 | 国内最大規模 | 運営保守 | 九電工 |



# 【位置関係】ウォーターフロントネクスト・天神ビッグバン・博多コネクテッド

高さ制限緩和
ウォーターフロント地区 38ヘクタール（70メートル → 100メートル）
天神地区17ヘクタール（67メートル → 最高115メートル）
緩和要請
博多駅地区（50メートル → 60メートル）



# 【プロジェクト内容】ウォーターフロントネクスト・天神ビッグバン・博多コネクティッド

| プロジェクト | 目　的 | 期間及び規模 |
|---|---|---|
| ①天神ビッグバン | ・福岡の中心部である天神エリアの再開発を進めることで、アジアの拠点都市としての役割・機能を高め、雇用を創出 | ・2024年まで<br>・延床面積 75.7万㎡<br>**・天神地区のビルの建替（30棟）** |
| ②ウォーターフロントネクスト | ・九州の海の玄関口である博多港周辺の賑わいを創出<br>・MICEやクルーズなどの需要に対し、都市機能の向上 | ・今後10～20年<br>**・クルーズターミナル、MICE、商業施設、ホテル** |
| ③博多コネクティッド | ・九州の陸の玄関口である博多駅の活力と賑わいを、さらに周辺につなげていく | ・2028年まで<br>・博多駅から半径約500m、約80ha<br>**・博多駅周辺のビルの建替（20棟）** |

# 多様なビジネスモデル それぞれの深堀り（設備工事業）

| ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ / 項　目 | Ⓐ 提案元請型（地域密着） | Ⓑ サブコン型 | Ⓒ 資本参加型 |
|---|---|---|---|
| ①　特　徴 | ・中型・小型工事が中心<br>・施主から直接受注・元請となる | ・大型工事<br>・ゼネコンの下請（サブコン） | ・異業種との協業のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄに資本参加し、工事を受注<br>・工事利益＋応分の事業利益 |
| ② 事業エリア | 主として九州 | 関東・関西等都市部 | 全国展開 |
| | Ｍ＆Ａにより関東・関西へ | 福岡都市部<br>全国へ事業エリア拡大 | |
| ③　売上高 | 案件ごとの売上高は小さい | 案件ごとの売上高は大きい | 案件ごとの売上高は大きい |
| ④　利益率 | 比較的高い（施主から直接受注） | 比較的低い（下請が主） | プロジェクト毎で異なる |
| ⑤ 差別化戦略 | 九州、沖縄全域に110の営業所を持つことで、技術者による地域密着営業を展開 | 圧倒的な直営動員力 | プロジェクトの企画段階から参加することで、工事を確実に受注 |
| ⑥　ライバル | 地元中小企業 | 全国大手同業各社 | ゼネコン・デベロッパー |
| ⑦　構成比 | 約４０％ | 約５０％ | 約１０％ |